

令和6(2024)年度第2回みよし市行政評価委員会 次第

と き 令和6(2024)年8月22日(木)  
午後1時30分から  
ところ 市役所2階 201会議室

1 あいさつ

2 議 題

外部評価対象事務事業のヒアリングについて

《ヒアリング日程表》

時間	事務事業名	所管課
13:30~13:40	あいさつ、スケジュール確認	
13:40~13:55	1 環境美化推進事業	生活環境課
13:55~14:10	2 いきいきクラブ活動補助事業	長寿介護課
14:10~14:25	3 商工団体振興補助事業	産業振興課
14:25~14:35	休憩	
14:35~14:50	4 平和を紡ぐつどい開催事業	福祉課
14:50~15:05	5 行政評価システム事業	企画政策課
15:05~15:20	6 計画行政推進事務	企画政策課
15:20~15:30	あいさつ、次回会議内容説明	

みよし市行政評価委員名簿

役 職	氏 名	所 属
会 長	村 松 幸 廣	愛知大学名誉教授
副会長	望 月 恒 男	愛知大学経営学部教授
委 員	鵜 飼 俊 郎	元愛知県職員
委 員	小野田 惠 一	元みよし市職員
委 員	伊 藤 武	元みよし市職員
委 員	加 納 幸 治	元みよし市職員

令和6(2024)年度第2回みよし市行政評価委員会 会場図

201 会議室

傍聴席



出入口

担当課  
(待機)

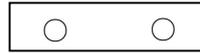
事務局



経営企画部 経営企画部  
参事 部長

経営企画部  
次長

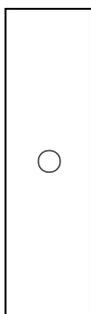
事務局



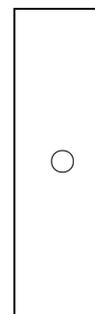
担当課



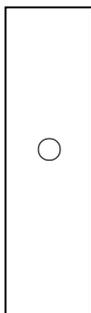
加納 委員



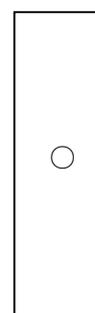
伊藤 委員



鵜飼 委員



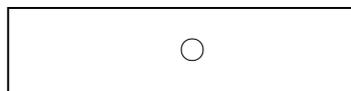
小野田 委員



村松 会長



望月 副会長



## 外部評価の評価基準について（参考）

第1回行政評価委員会において選定していただいた4事業および市で選定した2事業について、ヒアリングを基に評価をお願いします。評価していただく際のポイントは、主に次の基準のとおりです。

意見・質問事項等を検討する際の参考としてください。

評価項目		評価基準
1 妥当性	行政が公費を投入して実施することが妥当か（対象を見直すことはできないか）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 妥当である</li> <li>・ 行政の関わる範囲を限定（対象を縮小）すべき</li> <li>・ 行政の関わる範囲を広げる（対象を拡大）べき</li> <li>・ 判断できない</li> </ul>
2 有効性	廃止・休止した場合に住民が影響を受けるか	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 多くの住民に影響がある</li> <li>・ 一部の住民に影響がある</li> <li>・ 特に影響はない</li> <li>・ 判断できない</li> </ul>
3 効率性	(1)サービスを低下させずに総事業費を削減できないか	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 現状のままでよい</li> <li>・ 削減の余地がある</li> <li>・ 増加させるべきだ</li> <li>・ 判断できない</li> </ul>
	(2)外部への委託や類似事業との統合により事業費の削減の余地はないか	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 現状のままでよい</li> <li>・ 外部委託や統合により削減の余地がある</li> <li>・ 判断できない</li> </ul>
4 公平性	受益者負担は適正か	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 適正である</li> <li>・ 住民負担を増やす（設定する）べきだ</li> <li>・ 住民負担を減らすべきだ</li> <li>・ 判断できない</li> <li>・ 受益者がいない</li> </ul>

# 令和6(2024)年度みよし市行政評価外部評価シート①

事務事業名 環境美化推進事業（生活環境課）

評価委員 \_\_\_\_\_

評価項目		評価結果	評価結果を判断した理由
1 妥当性	行政が公費を投入して実施することが妥当か(対象を見直すことはできないか)	<input type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 行政の関わる範囲を限定(対象を縮小)すべき <input type="checkbox"/> 行政の関わる範囲を広げる(対象を拡大)べき <input type="checkbox"/> 判断できない	
2 有効性	廃止・休止した場合に住民が影響を受けるか	<input type="checkbox"/> 多くの住民に影響がある <input type="checkbox"/> 一部の住民に影響がある <input type="checkbox"/> 特に影響はない <input type="checkbox"/> 判断できない	
3 効率性	(1) サービスを低下させずに総事業費を削減できないか	<input type="checkbox"/> 現状のままでよい <input type="checkbox"/> 削減の余地がある <input type="checkbox"/> 増加させるべきだ <input type="checkbox"/> 判断できない	
	(2) 外部への委託や類似事業との統合により事業費の削減の余地はないか	<input type="checkbox"/> 現状のままでよい <input type="checkbox"/> 外部委託や統合により削減の余地がある <input type="checkbox"/> 判断できない	
4 公平性	受益者負担は適正か	<input type="checkbox"/> 適正である <input type="checkbox"/> 住民負担を増やす(設定する)べきだ <input type="checkbox"/> 住民負担を減らすべきだ <input type="checkbox"/> 判断できない <input type="checkbox"/> 受益者がいない	

総合評価	<input type="checkbox"/> 継続して実施 <input type="checkbox"/> 見直しのうえ実施 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止・休止を検討	(理由や今後の方向性を記入してください)

## 令和6(2024)年度みよし市行政評価外部評価シート②

事務事業名 いきいきクラブ活動補助事業（長寿介護課）

評価委員 \_\_\_\_\_

	評価項目	評価結果	評価結果を判断した理由
1 妥当性	行政が公費を投入して実施することが妥当か(対象を見直すことはできないか)	<input type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 行政の関わる範囲を限定(対象を縮小)すべき <input type="checkbox"/> 行政の関わる範囲を広げる(対象を拡大)べき <input type="checkbox"/> 判断できない	
2 有効性	廃止・休止した場合に住民が影響を受けるか	<input type="checkbox"/> 多くの住民に影響がある <input type="checkbox"/> 一部の住民に影響がある <input type="checkbox"/> 特に影響はない <input type="checkbox"/> 判断できない	
3 効率性	(1) サービスを低下させずに総事業費を削減できないか	<input type="checkbox"/> 現状のままでよい <input type="checkbox"/> 削減の余地がある <input type="checkbox"/> 増加させるべきだ <input type="checkbox"/> 判断できない	
	(2) 外部への委託や類似事業との統合により事業費の削減の余地はないか	<input type="checkbox"/> 現状のままでよい <input type="checkbox"/> 外部委託や統合により削減の余地がある <input type="checkbox"/> 判断できない	
4 公平性	受益者負担は適正か	<input type="checkbox"/> 適正である <input type="checkbox"/> 住民負担を増やす(設定する)べきだ <input type="checkbox"/> 住民負担を減らすべきだ <input type="checkbox"/> 判断できない <input type="checkbox"/> 受益者がいない	

総合評価	<input type="checkbox"/> 継続して実施 <input type="checkbox"/> 見直しのうえ実施 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止・休止を検討	(理由や今後の方向性を記入してください)
------	---	----------------------

# 令和6(2024)年度みよし市行政評価外部評価シート③

事務事業名 商工団体振興補助事業（産業振興課）

評価委員 \_\_\_\_\_

	評価項目	評価結果	評価結果を判断した理由
1 妥当性	行政が公費を投入して実施することが妥当か(対象を見直すことはできないか)	<input type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 行政の関わる範囲を限定(対象を縮小)すべき <input type="checkbox"/> 行政の関わる範囲を広げる(対象を拡大)べき <input type="checkbox"/> 判断できない	
2 有効性	廃止・休止した場合に住民が影響を受けるか	<input type="checkbox"/> 多くの住民に影響がある <input type="checkbox"/> 一部の住民に影響がある <input type="checkbox"/> 特に影響はない <input type="checkbox"/> 判断できない	
3 効率性	(1) サービスを低下させずに総事業費を削減できないか	<input type="checkbox"/> 現状のままでよい <input type="checkbox"/> 削減の余地がある <input type="checkbox"/> 増加させるべきだ <input type="checkbox"/> 判断できない	
	(2) 外部への委託や類似事業との統合により事業費の削減の余地はないか	<input type="checkbox"/> 現状のままでよい <input type="checkbox"/> 外部委託や統合により削減の余地がある <input type="checkbox"/> 判断できない	
4 公平性	受益者負担は適正か	<input type="checkbox"/> 適正である <input type="checkbox"/> 住民負担を増やす(設定する)べきだ <input type="checkbox"/> 住民負担を減らすべきだ <input type="checkbox"/> 判断できない <input type="checkbox"/> 受益者がいない	

総合評価	<input type="checkbox"/> 継続して実施 <input type="checkbox"/> 見直しのうえ実施 <div style="margin-left: 20px;"> <input type="checkbox"/> 改善  <input type="checkbox"/> 拡大  <input type="checkbox"/> 縮小  <input type="checkbox"/> 統合                 </div> <input type="checkbox"/> 廃止・休止を検討	(理由や今後の方向性を記入してください)
------	--	----------------------

# 令和6(2024)年度みよし市行政評価外部評価シート④

事務事業名 平和を紡ぐつどい開催事業 ( 福祉課 )

評価委員 \_\_\_\_\_

評価項目		評価結果	評価結果を判断した理由
1 妥当性	行政が公費を投入して実施することが妥当か(対象を見直すことはできないか)	<input type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 行政の関わる範囲を限定(対象を縮小)すべき <input type="checkbox"/> 行政の関わる範囲を広げる(対象を拡大)べき <input type="checkbox"/> 判断できない	
2 有効性	廃止・休止した場合に住民が影響を受けるか	<input type="checkbox"/> 多くの住民に影響がある <input type="checkbox"/> 一部の住民に影響がある <input type="checkbox"/> 特に影響はない <input type="checkbox"/> 判断できない	
3 効率性	(1) サービスを低下させずに総事業費を削減できないか	<input type="checkbox"/> 現状のままでよい <input type="checkbox"/> 削減の余地がある <input type="checkbox"/> 増加させるべきだ <input type="checkbox"/> 判断できない	
	(2) 外部への委託や類似事業との統合により事業費の削減の余地はないか	<input type="checkbox"/> 現状のままでよい <input type="checkbox"/> 外部委託や統合により削減の余地がある <input type="checkbox"/> 判断できない	
4 公平性	受益者負担は適正か	<input type="checkbox"/> 適正である <input type="checkbox"/> 住民負担を増やす(設定する)べきだ <input type="checkbox"/> 住民負担を減らすべきだ <input type="checkbox"/> 判断できない <input type="checkbox"/> 受益者がいない	

総合評価	<input type="checkbox"/> 継続して実施 <input type="checkbox"/> 見直しのうえ実施 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止・休止を検討	(理由や今後の方向性を記入してください)

# 令和6(2024)年度みよし市行政評価外部評価シート⑤

事務事業名 行政評価システム事業 ( 企画政策課 )

評価委員 \_\_\_\_\_

評価項目		評価結果	評価結果を判断した理由
1 妥当性	行政が公費を投入して実施することが妥当か(対象を見直すことはできないか)	<input type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 行政の関わる範囲を限定(対象を縮小)すべき <input type="checkbox"/> 行政の関わる範囲を広げる(対象を拡大)べき <input type="checkbox"/> 判断できない	
2 有効性	廃止・休止した場合に住民が影響を受けるか	<input type="checkbox"/> 多くの住民に影響がある <input type="checkbox"/> 一部の住民に影響がある <input type="checkbox"/> 特に影響はない <input type="checkbox"/> 判断できない	
3 効率性	(1) サービスを低下させずに総事業費を削減できないか	<input type="checkbox"/> 現状のままでよい <input type="checkbox"/> 削減の余地がある <input type="checkbox"/> 増加させるべきだ <input type="checkbox"/> 判断できない	
	(2) 外部への委託や類似事業との統合により事業費の削減の余地はないか	<input type="checkbox"/> 現状のままでよい <input type="checkbox"/> 外部委託や統合により削減の余地がある <input type="checkbox"/> 判断できない	
4 公平性	受益者負担は適正か	<input type="checkbox"/> 適正である <input type="checkbox"/> 住民負担を増やす(設定する)べきだ <input type="checkbox"/> 住民負担を減らすべきだ <input type="checkbox"/> 判断できない <input type="checkbox"/> 受益者がいない	

総合評価	<input type="checkbox"/> 継続して実施 <input type="checkbox"/> 見直しのうえ実施 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止・休止を検討	(理由や今後の方向性を記入してください)

# 令和6(2024)年度みよし市行政評価外部評価シート⑥

事務事業名 計画行政推進事務 ( 企画政策課 )

評価委員 \_\_\_\_\_

評価項目		評価結果	評価結果を判断した理由
1 妥当性	行政が公費を投入して実施することが妥当か(対象を見直すことはできないか)	<input type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 行政の関わる範囲を限定(対象を縮小)すべき <input type="checkbox"/> 行政の関わる範囲を広げる(対象を拡大)べき <input type="checkbox"/> 判断できない	
2 有効性	廃止・休止した場合に住民が影響を受けるか	<input type="checkbox"/> 多くの住民に影響がある <input type="checkbox"/> 一部の住民に影響がある <input type="checkbox"/> 特に影響はない <input type="checkbox"/> 判断できない	
3 効率性	(1) サービスを低下させずに総事業費を削減できないか	<input type="checkbox"/> 現状のままでよい <input type="checkbox"/> 削減の余地がある <input type="checkbox"/> 増加させるべきだ <input type="checkbox"/> 判断できない	
	(2) 外部への委託や類似事業との統合により事業費の削減の余地はないか	<input type="checkbox"/> 現状のままでよい <input type="checkbox"/> 外部委託や統合により削減の余地がある <input type="checkbox"/> 判断できない	
4 公平性	受益者負担は適正か	<input type="checkbox"/> 適正である <input type="checkbox"/> 住民負担を増やす(設定する)べきだ <input type="checkbox"/> 住民負担を減らすべきだ <input type="checkbox"/> 判断できない <input type="checkbox"/> 受益者がいない	

総合評価	<input type="checkbox"/> 継続して実施 <input type="checkbox"/> 見直しのうえ実施 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止・休止を検討	(理由や今後の方向性を記入してください)

# 参考資料

## 外部対象評価事務事業一覧（R1～R6）

R6	No.	対象事務事業	1次評価	2次評価
	1	環境美化推進事業	現状維持	
	2	いきいきクラブ活動補助事業	現状維持	
	3	商工団体振興補助事業	現状維持	
	4	平和を紡ぐつどい開催事業	改善	
	5	行政評価システム事業	現状維持	
	6	計画行政推進事務	現状維持	

本日のヒアリングを踏まえ、第3回行政評価委員会において決定

R5	No.	対象事務事業	1次評価	2次評価
	1	スポーツ教室開催事業	改善	改善
	2	コミュニティ広場管理運営事業	現状維持	現状維持
	3	職員研修事業	拡大	拡大
4	ICT推進事業	拡大	拡大	

R4	No.	対象事務事業	1次評価	2次評価
	1	児童発達支援事業	拡大	拡大
	2	敬老金支給事業	改善	改善
	3	長寿お祝い事業	廃止・休止	廃止
	4	商工業活性化補助事業	現状維持	現状維持
5	ふるさと納税返礼品PR推進事業	改善	現状維持	

R3	No.	対象事務事業	1次評価	2次評価
	1	郷土芸能伝承活動発表会開催事業	縮小	改善
	2	ビクターセンター管理事業	現状維持	改善
	3	不妊治療費助成金事業	現状維持	現状維持
	4	道路維持管理事業	現状維持	現状維持
	5	交通安全施設整備事業	現状維持	現状維持
6	リサイクル推進事業	拡大	現状維持	

※3次評価で「拡大」

R2	No.	対象事務事業	1次評価	2次評価
	1	年金相談事業	縮小	縮小
	2	有害鳥獣捕獲事業	現状維持	拡大
	3	さんさんの郷イベント実行委員会補助事業	統合	統合
	4	感染症対策事業（外部委員より選出）	現状維持	拡大
5	防災情報発信事業（外部委員より選出）	現状維持	現状維持	

R1	No.	対象事務事業	1次評価	2次評価
	1	記念樹配布事業	縮小	改善
	2	史跡整備管理事業	現状維持	現状維持
	3	防犯推進事業	現状維持	拡大
	4	地場産業振興事業（外部委員より選出）	現状維持	現状維持
5	こども相談・虐待防止事業（外部委員より選出）	改善	拡大	

※3次評価で「改善」

令和6(2024)年度 外部評価対象事務事業個別シート

事業名		環境美化推進事業	担当課	生活環境課
基本目標		取組方針	取組分野	領域
自然環境を守り未来へつなぐまち		緑を守り育て、まちを美しくしよう	環境美化	B
事業概要		環境美化並びに快適な環境づくりに対する意識の高揚とごみの減量化・資源化について地域住民が自らが取り組んでいただくよう実践活動の輪を広げるための支援をする。		
令和5(2023)年度の取組内容		小中学校、保育園、幼稚園、公共施設にて緑のカーテン事業を実施した。 一般家庭を対象に緑のカーテン用苗を無料配布した。 環境美化指導員を委嘱し、月2回程度の環境美化活動を実施した。 環境美化推進大会(安全なまちづくり推進大会と共催)を開催し、功労者に対し感謝状を贈呈した。		
事業の必要性	市民ニーズ(廃止した場合の市民への影響)	緑のカーテン用の苗の配布を希望する方々は一定数存在する。		
	行政が関与する妥当性	自然的社会的条件に応じた総合的かつ計画的な環境保全に関する施策を策定し、実施する責務がある。 環境美化向上、快適な環境づくりを推進するため、環境に対する意識の高揚と自らができることから活動に取り組んでいただく実践を促す活動としては妥当。		
事業の成果(実績、利用状況等)		緑のカーテンの実施については、毎年100件を超える申し込みがあるが、その内6割程度はリピーターとなっている。 環境美化功労者(R6)個人2、団体2、(R5)個人3、団体1、(R4)個人6、団体1		

近隣市町村の状況	近隣自治体で、環境美化の大会実施をしている自治体はない。 緑のカーテン事業は、碧南市、刈谷市、豊田市、安城市、日進市、東郷町で実施。(碧南市、豊田市、安城市は公共施設で実施。刈谷市、日進市、東郷町は市民対象で実施。)
現在および将来の課題	環境美化向上、快適な環境づくりを推進するため、環境に対する意識の高揚と自らができることから活動に取り組んでいただく実践を促す活動の一つとして緑のカーテン事業を毎年5月に野菜苗の無料配布を行い、実践活動を促す事業の一つとしている。 また、環境美化功労者表彰、啓発ポスターの表彰等を環境月間である毎年6月に環境美化推進大会を開催している。 事業の継続により一定の効果はあり、事業も定着しているが、省エネ、環境負荷軽減、環境保全活動など環境に関する取り組むべき分野も年々広がり、重要度も増していることから、楽しく環境意識を深め、自主的な活動を促し、より効率的・効果的な事業展開・実施を検討したい。
その他	今後の展望として、環境美化推進大会での功労者感謝状は、文化の日記念式典に統合する。小学生のポスター表彰については、学校で実施し、イオン等商業施設で作品を掲示することで周知をする。また、環境に関する施策が多様化していることから、環境美化の啓発等については、単独で行うのではなく、フードドライブなどの他事業と併せて実施することで相乗効果を図る。

コスト	科目	金額(千円)	内容					
			報償費	1,342	緑のカーテンコンクール記念品(22千円)、環境美化指導員報償(1,320千円)			
	消耗品費	889	緑のカーテン設置事業消耗品(599千円)、環境美化推進大会消耗品(50千円)環境美化指導員活動消耗品(240千円)					
	印刷製本費	60	環境美化推進大会(安全なまちづくり推進大会共催)冊子					
	通信運搬費	37	環境美化指導員報告郵送料					
	傷害保険料	60	環境美化指導員傷害保険料					
	印刷製本費使用料	60 80	防災安全課対応分 安全なまちづくり推進大会(環境美化推進大会共催)冊子(60千円) 安全なまちづくり推進大会(環境美化推進大会共催)会場使用料(80千円)					
	合計	2,528	内140千円は防災安全課で対応					
事業費(千円)	令和5(2023)年度実績	1,825	令和7(2025)年度計画値	2,419	令和8(2026)年度計画値	2,391	令和9(2028)年度計画値	2,419

方向性	今後の事業の方向性	コストの方向性	成果の方向性
	現状維持	→ 維持	→ 維持

令和6年度 みよし市安全なまちづくり推進大会・環境美化推進大会

みよし市安全なまちづくり推進大会・環境美化推進大会（6月8日）

交通安全、生活安全、防火防災と環境美化の推進を図り、安全で安心できる住みよいまちづくりを実現するため6月8日、カネヨシプレイスでみよし市安全なまちづくり推進大会及び環境美化推進大会が開催されました。市民憲章を唱和した後、主催者である市長や来賓のあいさつ、続いて地域安全や環境美化の推進に貢献された人への感謝状の贈呈、市内の小・中学生の交通安全・生活安全や環境美化に関する習字とポスターの入賞者への表彰が行われました。またレセプションホールでは習字やポスターの入賞作品が展示され、多くの人がじっくりと鑑賞していました。なおこれらの作品は6月27日まで、イオン三好ショッピングセンター2階ギャラリーでも展示されます。



緑のカーテン



# 令和 6年度（5年度実施分）事務事業目的評価表

様式1-1

記入日

令和06年05月21日

1 事務事業 の 現状	事務事業名		No.	272	環境美化推進事業						
	この事務事業 の位置	政策	自然環境を守り未来へつなぐまち								
		施策	緑を守り育て、まちを美しくしよう								
		基本事業	環境美化								
	主管課名	生活環境課			課長名	鈴木 孝明					
この事務事業の開始時期	平成7(1995)年度			事務区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 自治事務						
	この事務事業の根拠法令		みよし市環境美化に関する条例								
P L A N 及 び D O	事業の概要			現在の状況とこの事務事業を行う根拠または理由							
	・環境美化並びに快適な環境づくりに対する意識の高揚とごみの減量化・資源化について地域住民が自ら取り組んでいただくよう実践活動の輪を広げるための支援をする。 「SDGsの取り組み：6，8，11，12，14」			・生活を営む中で、便利さ、快適さを追求し、大量生産、大量消費、大量廃棄という経済体系を構築した結果、空気の汚れ、水の汚れ、ごみの増大により自然環境破壊並びに環境悪化を招くこととなった。 こうした中、地球的規模での環境問題が重要課題となっており、快適な市民生活の確保及び環境美化の促進を図る必要がある。							
R5年度に実施した具体的な事業の方法、手順、指標に対する成果等		・小中学校、保育園、幼稚園、公共施設にて緑のカーテン事業を実施した。 ・一般家庭を対象に緑のカーテン用苗を無料配布した。 ・環境美化指導員を委嘱し、月2回程度の環境美化活動を実施した。									
事務事業を取り巻く状況は過去と比べ変化しているか				(1) 活動指標（事務事業の活動量を表す指標）							
変 化 内 容	変化なし。			名称		単位					
				①	緑のカーテン実施件数		件				
			②								
対象(この事業の対象、範囲となる人、物)				(2) 対象指標（対象の大きさを表す指標）							
市民				名称		単位					
				①	みよし市の人口		人				
				②							
目的(この事業によって上記対象をどのような状態にしたいのか)				(3) 成果指標（目的の達成度を示す指標）							
環境美化意識の醸成及び環境美化の実践をする				名称		単位					
				①	環境美化実践活動を実施した行政区数		行政区				
				②	環境美化実践活動を実施したのべ人数		人				
結果(上位基本事業の意図)				(4) 結果の成果指標（上位基本事業の成果指標）							
環境美化意識の醸成、環境美化の実践				名称		単位					
				①	環境美化実践活動回数		回				
				②							
事務事業の各種指標の実績と見込及び目標											
指標 \ 年度	単位	R4年度 実績値	R5年度 計画値	R5年度 実績値	R6年度 計画値	R7年度 目標値	R8年度 目標値	R9年度 目標値			
(1)の 活動指標	① 件	167	167	146	150	150	150	150			
	②										
(2)の 対象指標	① 人	61,218	61,375	61,375	61,380	61,938	62,219	62,500			
	②										
(3)の 成果指標	① 行政区	25	25	25	25	25	25	25			
	② 人	42,531	42,750	46,418	46,650	46,900	47,150	47,400			
(4)の結果の 成果指標	① 回	257	304	283	306	308	310	312			
	②										
予算費目	会計	01 一般会計				款	04	項	01	目	05
コスト	年度	R4年度 実績値	R5年度 計画値	R5年度 実績値	R6年度 計画値	R7年度 目標値	R8年度 目標値	R9年度 目標値			
事業費(決算又は予算額) A	単位	6,259	9,777	0	9,496	9,527	9,499	9,527			
	財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0		
		県支出金	千円	521	500	0	500	500	500		
		地方債	千円	0	0	0	0	0	0		
		その他	千円	0	1	0	1	1	1		
一般財源	千円	5,738	9,276	0	8,995	9,026	8,998	9,026			
人件費B	千円	3,631.2	7,204	7,396	7,396	7,396	7,396	7,396			
正職員従事時間×人数	時間×人	102×5	305×5	305×5	305×5	305×5	305×5	305×5			
正職員以外の人件費	千円	1,836	1,836	2,028	2,028	2,028	2,028	2,028			
その他の費用C	千円	16	16	86	86	86	86	86			
トータルコストA+B+C	千円	9,906.2	16,997	7,482	16,978	17,009	16,981	17,009			
単位あたりコスト	① 千円/人	0.2	0.3	0.1	0.3	0.3	0.3	0.3			
	② 千円/	0	0	0	0	0	0	0			

事務事業名	No.	272	環境美化推進事業
-------	-----	-----	----------

2 評価 CHECK	この事業の必要性は薄れていませんか。十分な成果が得られていますか？	<input checked="" type="checkbox"/> 得られている <input type="checkbox"/> 得られていない	理由	環境美化に対する市民の意識の高揚になっている。
	事業進展等による環境変化に伴い、対象を見直す（拡大・縮小）必要はありませんか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない	その理由	市と行政区で活動をしているため
	事業進展等による環境変化に伴い、目的を見直す（目的の追加・拡充又は絞込）必要はありませんか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない	その理由	環境美化の啓発につながるため
有効性	今以上に事業の成果を向上させる方法を記入して下さい。 ※(3)の成果指標を向上させることはできますか？	内容	より一層の啓発に努める	
	目的達成状況	内容	環境美化実践活動実施人数について88%達成できている。	
	市関与の必要性（実施手法）	内容	<input type="checkbox"/> 民間への一部委託 <input type="checkbox"/> 民間への全部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金・負担金助成 <input checked="" type="checkbox"/> 市の直営 広く啓発活動を行う	
効率性	事務事業の統廃合により、事業の効率化を図り、成果を向上させる方法を記入して下さい。	内容	現在の手法が適している。	
	現状より事業費・人件費を削減する方法を記入して下さい。（仕様の変更、外部委託、従事時間の削減等できないか？）	内容	事業費は適正である。	
公平性	受益者負担はありますか？ また、受益者負担割合は適正ですか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> 現状で適正 <input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> 検討が必要 <input type="checkbox"/> 受益者がいない	内容	無料配布を実施しているため。

3 改革 改善 案 ACTION	事業実施上の課題、住民・議会等からの意見と対応策	意見	マナー並びにモラルに対する意識改革の徹底が必要である。	対応策	イベントや日常のパトロール等地道な啓発活動を継続する。
	R6年度の事業計画は前年度から変更・追加はあるか	前年度	啓発活動	変更・追加	なし
	今後の事業・コスト・成果の方向性	今後の事業の方向性、改革・改善案 ※今年度からの具体的な事業の進め方、手段の見直し等、各方向性の内容 ・ポイ捨て等の防止に関する条例の施行により、行政だけでなく地域・住民・事業所が一体となって環境対策に取り組める体制作りを一層推進し、環境配慮型の新たなライフスタイルへの転換を求めていく。 ・令和5(2023)年度から犬・猫死体処理事業及び不法投棄防止対策事業を統合した。			
	<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 廃止・休止				
	コストの方向性	→ 維持			
	成果の方向性	→ 維持			

令和6(2024)年度 外部評価対象事務事業個別シート

事業名	いきいきクラブ活動補助事業	担当課	長寿介護課
-----	---------------	-----	-------

基本目標	取組方針	取組分野	領域
健康で生き生きと暮らせるまち	生涯にわたって健康に暮らせるようにしよう	生きがい・働きがい	D

事業概要	いきいきクラブ活動等により一層の活性化を図り、高齢者の生きがい又は健康づくりを推進することにより、高齢者の生活意欲の向上又は介護予防に資するとともに、明るい長寿社会の実現及び保健福祉の向上を図ることを目的に、いきいきクラブみよし連合会の事業に対して、補助金を交付する。
令和5(2023)年度 の取組内容	市内いきいきクラブの連携と会員相互の親睦を図ることを目的に、社会奉仕活動、社会参加活動、健康増進活動、教養学習活動、スポーツ振興事業等の事業に要する費用のうち、運営費、事業費に対して補助した。

事業の必要性	市民ニーズ (廃止した場合の市民への影響)	当事業は活動を通じて高齢者の生きがい又は健康づくりの面において貢献しており、廃止することにより、その機会が失われることになる。
	行政が関与する 妥当性	いきいきクラブが実施する社会奉仕活動、社会参加活動、健康増進活動、教養学習活動、スポーツ振興事業等の事業に要する費用のうち、運営費、事業費を対象に補助し、地域のいきいきクラブの活動を活性化させる一助となり得るため。

事業の成果 (実績、利用状況等)	補助金を交付することで、いきいきクラブの各活動(社会奉仕活動、社会参加活動、健康増進活動、教養学習活動、スポーツ振興事業等の事業)の活性化に寄与することができた。
---------------------	---

近隣市町村 の状況	各市町のいきいきクラブ会員は減少傾向で補助金予算も現状維持又は減少傾向にある。事業は維持していく自治体が大部分を占めている。(西三河8市1町、尾三3市1町の状況は確認済)
現在および将来 の課題	定年延長、趣味の多様化等の諸要素により、各地区のいきいきクラブへ会員数が減少傾向にあり、今後もこの傾向が続くものと思われる。今後は会員数の確保、いきいきクラブ活動の維持が課題となる。
その他	

コスト	科目	金額 (千円)		内容				
		令和6 (2024) 年度予算	需用費	4	ねんりんピック出場者激励品 3人×1,000円×1.1			
	負担金、補助及び交付金	5807	いきいきクラブ活動等補助金 5,807,000円					
			連合会定額 1,600,000円					
			21クラブ×27,000円=567,000円					
			会員2,600人×1,400円=3,640,000円					
	合計	5811						
事業費(千円)	令和5(2023)年度 実績	5,730	令和7(2025)年度 計画値	5,811	令和8(2026)年度 計画値	5,811	令和9(2028)年度 計画値	5,811

方向性	今後の事業の方向性	コストの方向性	成果の方向性
	現状維持	→ 維持	→ 維持

# 令和 6年度（5年度実施分）事務事業目的評価表

様式1-1

記入日

令和06年05月21日

1 事務事業 の 現 状  P L A N 及 び D O	事務事業名		No.	169	いきいきクラブ活動補助事業						
	この事務事業 の位置		政策		健康で生き生きと暮らせるまち						
			施策		生涯にわたって健康に暮らせるようにしよう						
			基本事業		生きがい・働きがい						
	主管課名		長寿介護課		課長名	杉浦 光					
	この事務事業の開始時期		平成19(1997)年4月		事務区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 自治事務					
	この事務事業の根拠法令		みよし市いきいきクラブ活動等補助金交付要綱								
	事業の概要				現在の状況とこの事務事業を行う根拠または理由						
	いきいきクラブ活動等により一層の活性化を図り、高齢者の生きがい又は健康づくりを推進することにより、高齢者の生活意欲の向上又は介護予防に資するとともに、明るい長寿社会の実現及び保健福祉の向上を図ることを目的に、いきいきクラブみよし連合会の事業に対して、補助金を交付する。 【SDGsの取組：8】				いきいきクラブが実施する社会奉仕活動、社会参加活動、健康増進活動、教養学習活動、スポーツ振興事業等の事業に要する費用のうち、運営費、事業費を対象に補助し地域のいきいきクラブの活動を活性化させる。						
	R5年度に実施した具体的な事業の方法、手順、指標に対する成果等			市内いきいきクラブの連携と会員相互の親睦を図ることを目的に、社会奉仕活動、社会参加活動、健康増進活動、教養学習活動、スポーツ振興事業等の事業に要する費用のうち、運営費、事業費に対して補助した。							
事務事業を取り巻く状況は過去と比べ変化しているか				(1) 活動指標（事務事業の活動量を表す指標）							
変 化 内 容	働く意欲のある高齢者が増加することが予測され、加入率が低下する可能性がある。			名称		単位					
				① 地区いきいきクラブ数	クラブ						
		② いきいきクラブ会員数	人								
対象(この事業の対象、範囲となる人、物)				(2) 対象指標（対象の大きさを表す指標）							
市内の高齢者				名称		単位					
		① 高齢者人口	人								
		②									
目的(この事業によって上記対象をどのような状態にしたいのか)				(3) 成果指標（目的の達成度を示す指標）							
いきいきクラブが実施する活動に参加する高齢者の増加				名称		単位					
		① いきいきクラブ加入率	%								
		②									
結果(上位基本事業の意図)				(4) 結果の成果指標（上位基本事業の成果指標）							
積極的に社会参加し、健康で生きがいのある生活を送ってもらう。				名称		単位					
		① 生きがい・働きがいの取組の満足度割合	%								
		②									
事務事業の各種指標の実績と見込及び目標											
指標 \ 年度	単位	R4年度 実績値	R5年度 計画値	R5年度 実績値	R6年度 計画値	R7年度 目標値	R8年度 目標値	R9年度 目標値			
(1)の 活動指標	① クラブ	21	21	21	21	21	21	21			
	② 人	2,739	3,493	2,543	2,600	2,700	2,800	2,900			
(2)の 対象指標	① 人	11,493	11,726	11,493	11,661	11,959	12,192	12,425			
	②										
(3)の 成果指標	① %	23.8	30	21.8	30	30	30	30			
	②										
(4)の結果の 成果指標	① %	69.1	82.5	80.9	80.9	80.9	80.9	80.9			
	②										
予算費目	会計	01 一般会計				款	03	項	01	目	06
コスト	年度	R4年度 実績値	R5年度 計画値	R5年度 実績値	R6年度 計画値	R7年度 目標値	R8年度 目標値	R9年度 目標値			
事業費(決算又は予算額) A	単位	6,003	6,231	0	5,811	5,811	5,811	5,811			
財 源 内 訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0			
	県支出金	千円	751	746	0	748	748	748			
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0			
	その他	千円	0	0	0	0	0	0			
	一般財源	千円	5,252	5,485	0	5,063	5,063	5,063			
人件費 B	千円	1,056	876.5	950.4	950.4	950.4	950.4	950.4			
正職員従事時間×人数	時間×人	100×3	83×3	90×3	90×3	90×3	90×3	90×3			
正職員以外の人件費	千円	0	0	0	0	0	0	0			
その他の費用 C	千円	0	0	0	0	0	0	0			
トータルコスト A+B+C	千円	7,059	7,107.5	950.4	6,761.4	6,761.4	6,761.4	6,761.4			
単位あたりコスト	① 千円/人	0.6	0.6	0.1	0.6	0.6	0.6	0.5			
(トータルコスト/(2)の対象指標)	② 千円/	0	0	0	0	0	0	0			

事務事業名	No.	169	いきいきクラブ活動補助事業
-------	-----	-----	---------------

2 評価 CHECK	この事業の必要性は薄れていませんか。十分な成果が得られていますか？	<input checked="" type="checkbox"/> 得られている <input type="checkbox"/> 得られていない	理由	いきいきクラブの活動の活性化のために必要である。
	事業進展等による環境変化に伴い、対象を見直す（拡大・縮小）必要はありませんか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない	その理由	いきいきクラブの活動を助成する対象を見直す必要はない。
	事業進展等による環境変化に伴い、目的を見直す（目的の追加・拡充又は絞込）必要はありませんか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない	その理由	いきいきクラブの活動を助成する目的を見直す必要はない。
	今以上に事業の成果を向上させる方法を記入して下さい。 ※(3)の成果指標を向上させることはできますか？	内容	いきいきクラブが高齢者の見守り活動等の友愛活動に実施することにより、成果が向上できる。	
	目的達成状況	内容	地域のいきいきクラブの活動が地域を活発化させると考えるため、一定の目的は達成している。	
	市関与の必要性（実施手法）	内容	<input type="checkbox"/> 民間への一部委託 <input type="checkbox"/> 民間への全部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金・負担金助成 <input type="checkbox"/> 市の直営 補助金を交付する。	
効率性	事務事業の統廃合により、事業の効率化を図り、成果を向上させる方法を記入して下さい。	内容	事業を統廃合することにより、成果の向上させることができない。	
	現状より事業費・人件費を削減する方法を記入して下さい。（仕様の変更、外部委託、従事時間の削減等ではないか？）	内容	現状の活動内容を維持するために、事業費を削減することはできない。	
公平性	受益者負担はありますか？ また、受益者負担割合は適正ですか？	<input checked="" type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> 現状で適正 <input type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> 検討が必要 <input type="checkbox"/> 受益者がいない	内容	適正である。

3 改革 改善案 ACTION	事業実施上の課題、住民・議会等からの意見と対応策	意見	会員数が年々減少している。	対応策	会員になるメリットを検討する必要がある。
	R6年度の事業計画は前年度から変更・追加はあるか	前年度	補助事業の対象経費をいきいきクラブ連合会に対して補助金を交付した。	変更追加	継続して実施するため、前年度と同様・同規模で実施。
	今後の事業・コスト・成果の方向性	今後の事業の方向性、改革・改善案 ※今年度からの具体的な事業の進め方、手段の見直し等、各方向性の内容 いきいきクラブの活動を支援するため今後も継続して補助する。 今後のいきいきクラブの活動事業において、会員になるメリットをいきいきクラブ連合会の事務局である社会福祉協議会に検討を促す必要がある。			
コストの方向性		→ 維持			
成果の方向性		→ 維持			

令和6(2024)年度 外部評価対象事務事業個別シート

事業名	商工団体振興補助事業	担当課	産業振興課
基本目標	取組方針	取組分野	領域
魅力と活力があふれるまち	工業のさらなる成長を支えよう	工業	C

事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>市内の商工業の育成を図るため、商工会が実施する地域振興事業、経営改善普及事業等に係る経費の3分の1を補助する。</li> <li>豊田法人会みよし支部、アパート組合、工業経済会、雇用対策協議会など商工諸団体の振興事業及び研修事業に対して補助金を交付する。</li> </ul>
令和5(2023)年度取組内容	<p>商工会が実施する、市内商工業者を対象とする指導、商工業及び地域振興に資する事業に対する補助を行った。</p> <p>商工団体が行った事業(研修会、講演会等)に対して補助を行った。</p>

事業の必要性	市民ニーズ(廃止した場合の市民への影響)	<ul style="list-style-type: none"> <li>市内の商工業者等で組織する団体が実施する、商工業の活性化を図るための取組みを支援対象としているため、間接的ではあるが多くの市民に提供されるサービスである。</li> <li>市内の商工団体の行う事業に要する経費を助成することは、各団体会員の知識及び技術の向上と市内の商工業の発展を図る手段であり、必要と考える。</li> <li>この事業を廃止した場合、商工会及び商工業者等で組織する団体が実施する事業が縮小され、商工業者の発展及び経営体力に支障をきたす恐れがある。</li> </ul>
	行政が関与する妥当性	<ul style="list-style-type: none"> <li>市内の商工業全体の発展を目的とする事業であり、民間で実施することはできない業務である。</li> </ul>

事業の成果(実績、利用状況等)	<ul style="list-style-type: none"> <li>商工会が実施する、多様化、専門化する小規模事業者のニーズに応え、関係機関及び専門機関と連携を図り、経営相談、金融相談、労働相談、情報化の推進、各種講習会等を開催し、それぞれの実情に沿った細やかな指導や商工業の振興に資する事業に対し、補助金を交付することにより、みよし市内の商工業の発展及び充実に役立てることができた。</li> <li>「商工会会員数 令和4年度実績966人 令和5年度実績979人」</li> <li>工業経済会が行う振興事業及び研修事業に対し、補助金を交付することにより、会員の資質向上及び会員相互の情報交換等商工団体の活動を活発に行うことができた。</li> <li>雇用対策協議会が行う企業説明会に対し、補助金を交付することにより、企業の雇用促進の支援をすることができた。</li> </ul>
-----------------	--

近隣市町村の状況	<p>岡崎市においては、商工会議所や商工会、雇用対策協議会に補助金を交付し支援している。</p> <p>豊田市においては、商工会議所や商工会に補助金、雇用対策協会に補助金や負担金を交付し支援している。</p> <p>高浜市においては、商工会に補助金を交付し支援している。</p>
現在および将来の課題	<p>商工会が実施する各事業の実施状況をより詳細に把握したうえでさらなる活用提案を行い、会員である市内商工業者のさらなる経営効率化を図っていく必要がある。</p> <p>商工諸団体の要望を適切に把握し、補助メニューの拡充・見直しを検討していく必要がある。</p>
その他	

コスト	科目	金額(千円)	内容			
			旅費	5	合同企業説明会(2名×1回)、愛知県中小企業団体中央会愛知県大会(1名×1回)	
	負担金	15	愛知県中小企業団体愛知県大会協賛金(15千円)			
	補助金	28,413	商工会(26,818千円)、豊田法人会みよし支部(20千円)、アパート組合(20千円)、工業経済会(1,035千円)、雇用対策協議会(520千円)			
	合計	28,433				
事業費(千円)	令和5(2023)年度実績	28,397	令和7(2025)年度計画値	28,433	令和8(2026)年度計画値	28,433
	令和6(2024)年度予算					

方向性	今後の事業の方向性	コストの方向性	成果の方向性
	現状維持	→ 維持	→ 維持

# 令和 6年度（5年度実施分）事務事業目的評価表

様式1-1

記入日

令和06年05月17日

1 事務事業 の 現状	事務事業名		No.	256	商工団体振興補助事業						
	この事務事業 の位置	政策	魅力と活力があふれるまち								
		施策	工業のさらなる成長を支えよう								
		基本事業	工業								
	主管課名	産業振興課			課長名	水野 貴行					
この事務事業の開始時期	昭和40(1965)年			事務区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 自治事務						
P L A N 及 び D O	この事務事業の根拠法令				なし						
	事業の概要				現在の状況とこの事務事業を行う根拠または理由						
市内の商工業の育成を図るため、商工会が実施する地域振興事業、経営改善普及事業等に係る経費の3分の1を補助する。 豊田法人会みよし支部、アパート組合、工業経済会、たばこ小売人会、雇用対策協議会など商工諸団体の振興事業及び研修事業に対して補助金を交付する 「SDGsの取り組み：8、9、10、17」				商工会が実施する、商工業者の経営の合理化、技術の向上のための研修会や研究会等の実施にかかる経費を補助し、市内の商工業者の発展に寄与する。 経営環境の変化に耐えうるため、商工業者等で組織する団体が実施する経営の合理化、技術の向上のための研修会や研究会等の経費を補助し、市内の商工業者の経営体力の向上を支援する必要がある。							
R5年度に実施した具体的な事業の方法、手順、指標に対する成果等				商工会が実施する、市内商工業者を対象とする指導、商工業及び地域振興に資する事業に対する補助をした。 商工団体が行った事業（研修会、講演会等）に対して補助をした。							
事務事業を取り巻く状況は過去と比べ変化しているか					(1) 活動指標（事務事業の活動量を表す指標）						
変 化 内 容	平成14(2002)年度より、定額補助から事業費に対する補助へと変更した。 令和5（2023）年度から商工会補助事業を統合				名称		単位				
					① 商工会の事業項目（メニュー）数	項目	② 商工諸団体の事業実施回数	回			
対象（この事業の対象、範囲となる人、物）					(2) 対象指標（対象の大きさを表す指標）						
みよし商工会 商工諸団体（5団体）					名称		単位				
					① 商工会会員数	人	② 商工諸団体会員数	人			
目的（この事業によって上記対象をどのような状態にしたいのか）					(3) 成果指標（目的の達成度を示す指標）						
商工会が行う経営等の指導や商工業の振興に資する事業を行う商工諸団体の会員の資質向上及び会員相互の情報交換等活動が発見に行われることにより市内の商工業の発展につなげる					名称		単位				
					① 事業実施回数	回	② 活発に活動できる団体数/全団体	%			
結果（上位基本事業の意図）					(4) 結果の成果指標（上位基本事業の成果指標）						
商工業者の資金運用をしやすくする					名称		単位				
					① 中小企業補助事業の融資件数	件	② 信用保証料補助金の交付件数	件			
事務事業の各種指標の実績と見込及び目標											
指標 \ 年度	単位	R4年度 実績値	R5年度 計画値	R5年度 実績値	R6年度 計画値	R7年度 目標値	R8年度 目標値	R9年度 目標値			
(1)の 活動指標	① 項目	29	30	29	30	30	30	30			
	② 回	13	60	14	14	14	14	14			
(2)の 対象指標	① 人	966	980	979	985	990	995	1,000			
	② 人	505	550	500	550	550	550	550			
(3)の 成果指標	① 回	1,591	1,600	1,475	1,500	1,500	1,500	1,500			
	② %	100	100	100	100	100	100	100			
(4)の結果の 成果指標	① 件	27	30	30	30	30	30	30			
	② 件	32	45	53	54	55	56	57			
予算費目	会計	01 一般会計				款	07	項	01	目	02
コスト	年度	R4年度 実績値	R5年度 計画値	R5年度 実績値	R6年度 計画値	R7年度 目標値	R8年度 目標値	R9年度 目標値			
財 源 内 訳	事業費(決算又は予算額) A	単位	1,258	29,938	0	28,433	28,433	28,433	28,433		
	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0	0		
	県支出金	千円	0	0	0	0	0	0	0		
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0	0		
	その他	千円	0	0	0	0	0	0	0		
一般財源	千円	1,258	29,938	0	28,433	28,433	28,433	28,433			
人件費 B	千円	5,996	8,232.6	8,114.5	7,407	7,407	7,407	7,407			
正職員従事時間×人数	時間×人	850×2	583×4	767×3	700×3	700×3	700×3	700×3			
正職員以外の人件費	千円	12	24	15	15	15	15	15			
その他の費用 C	千円	109	0	265	265	265	265	265			
トータルコスト A+B+C	千円	7,363	38,170.6	8,379.5	36,105	36,105	36,105	36,105			
単位あたりコスト	① 千円/人	7.6	38.9	8.6	36.7	36.5	36.3	36.1			
	(トータルコスト/(2)の対象指標) ② 千円/人	14.6	69.4	16.8	65.6	65.6	65.6	65.6			

事務事業名	No.	256	商工団体振興補助事業
-------	-----	-----	------------

2 評価 CHECK	この事業の必要性は薄れていませんか。十分な成果が得られていますか？	<input checked="" type="checkbox"/> 得られている <input type="checkbox"/> 得られていない	理由	商工会の加入率が少しずつ伸びており、商工会の各部会の活動事業は拡大している。
	事業進展等による環境変化に伴い、対象を見直す（拡大・縮小）必要はありませんか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない	その理由	対象を見直すことは出来ない。
	事業進展等による環境変化に伴い、目的を見直す（目的の追加・拡充又は絞込）必要はありませんか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない	その理由	目的を見直すことは出来ない。
	今以上に事業の成果を向上させる方法を記入して下さい。 ※(3)の成果指標を向上させることはできますか？	内容	各団体において効果的な事業に積極的に取組んでもらえるよう、必要な情報提供等を行う。	
	目的達成状況	内容	商工会の加入率が少しずつ伸びており、商工会の各部会の活動事業は拡大している。	
	市関与の必要性（実施手法）	内容	<input type="checkbox"/> 民間への一部委託 <input type="checkbox"/> 民間への全部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金・負担金助成 <input type="checkbox"/> 市の直営 各諸団体への補助。	
効率性	事務事業の統合により、事業の効率化を図り、成果を向上させる方法を記入して下さい。	内容	令和5(2023)年度より商工会補助事業と統合した。	
	現状より事業費・人件費を削減する方法を記入して下さい。（仕様の変更、外部委託、従事時間の削減等ではないか？）	内容	現状より、事業費・人件費の削減は出来ない。	
公平性	受益者負担はありますか？ また、受益者負担割合は適正ですか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> 現状で適正 <input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> 検討が必要 <input type="checkbox"/> 受益者がいない	内容	商工団体振興に資する補助事業であり、受益者負担はなく、現状適正である。

3 改革 改善案 ACTION	事業実施上の課題、住民・議会等からの意見と対応策	意見	商工会の活動事業をさらに拡大していくための補助の要望がある。商工諸団体から補助対象経費の性質上、補助金申請がしづらいとの意見がある。	対応策	商工諸団体の要望把握に努め、補助メニューの拡充、見直しが必要。	
	R6年度の事業計画は前年度から変更・追加はあるか	前年度	商工会が行う商工業者を対象とする指導や事業に対する補助をした。商工諸団体が行った事業（研修会、講演会等）に対して補助をした。	変更・追加	変更・追加なし	
	今後の事業・コスト・成果の方向性		今後の事業の方向性、改革・改善案 ※今年度からの具体的な事業の進め方、手段の見直し等、各方向性の内容 令和5(2023)年度より商工会補助事業と統合した。商工会が実施する各事業に対し、状況を把握したうえでさらなる活用提案を行うことで、会員である市内商工業者の経営効率化を図っていく。商工諸団体の要望を適切に把握し、補助メニューの拡充・見直しを検討していく。			
	コストの方向性		→ 維持			
成果の方向性		→ 維持				

令和6(2024)年度 外部評価対象事務事業個別シート

事業名	平和を紡ぐつどい開催事業	担当課	福祉課
基本目標	取組方針	取組分野	領域
その他	その他	その他	-

事業概要	本市には、330柱の英霊があり、これらの英霊に対し追悼の誠を捧げ、今日の平和を恒久のものとして、後世そして若き世代に継承していくため、「平和の催し」を開催する。
令和5(2023)年度 の取組内容	第1部 戦没者の追悼 第2部 中学生平和学習広島派遣の報告及び被爆者体験伝承講話

事業の必要性	市民ニーズ (廃止した場合の市民への影響)	戦没者の追悼と今日の平和を恒久のものとして次代へ継承すること
	行政が関与する 妥当性	核兵器の恐ろしさ、戦争の悲惨さ、平和の尊さについて、考え、かたり、戦争で犠牲になった方々の想いとともに後世へ引き継いでいくことは私たちの使命であり、戦争から年月が経過し、核兵器と戦争を現実として体験された方が年々減る中、核兵器と戦争の記憶を風化させ、惨禍を二度と繰り返さないよう、本市では非核平和都市宣言を行っていることから、市民に平和の大切さについて考える機会として開催することは妥当である。
事業の成果 (実績、利用状況等)	開催案内をみよし市遺族会、市議会議員、行政区長及び民生委員に通知し、およそ200人が参列された。二部構成とし、第一部で追悼式式典、第二部で各中学校4名ずつからなる中学生平和学習広島派遣団の団員が「みよし市非核平和都市宣言」を読み上げるとともに、広島派遣の報告を発表した。また、国立広島原爆死没者追悼平和記念館から被爆体験伝承者にお越しいただき講話聞き、参列者が平和について考える機会となった。	

近隣市町村 の状況	岡崎市、東郷町・・・平和祈念式 刈谷市、知立市・・・戦没者追悼式
現在および将来 の課題	長年「戦没者追悼式」として開催していたが、令和5年度から名称を「平和を紡ぐつどい」とし、追悼式に加え平和について語り継いでいく会となった。 遺族の高齢化や、戦争体験者が減少し戦没者追悼への関心が希薄し、参列者が年々減少している。みよし市遺族会においても同様の理由で会員が減少している状況であり、戦後80周年を迎える節目の令和7年度に、追悼のための式典は最後にしたいとの要望が出されている。
その他	

コスト	令和6 (2024) 年度予算	科目	金額 (千円)	内容			
		消耗品費	302	壇上花及び献花			
		印刷製本費	70	講演会看板等			
		行事等食糧費	88	ふるさと会館呈茶券(参列者が利用)			
		委託料	200	平和を紡ぐつどい講演会開催業務委託			
		施設使用料	50	カネヨシプレイス施設使用料			
		合計	710				
	事業費(千円)		令和5(2023)年度 実績	令和7(2025)年度 計画値	令和8(2026)年度 計画値	令和9(2028)年度 計画値	
		509	710	210	210		

方向性	今後の事業の方向性	コストの方向性	成果の方向性
	改善	→ 維持	→ 維持

# 令和 6年度（5年度実施分）事務事業目的評価表

様式1-1

記入日

令和06年05月16日

1 事務事業 の 現 状  P L A N 及 び D O	事務事業名		No.	140	平和を紡ぐつどい開催事業							
	この事務事業 の位置		政策	その他								
			施策	その他（体系外）								
			基本事業	その他								
	主管課名		福祉課		課長名	木戸 貴秀						
	この事務事業の開始時期		戦後間もなく		事務区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 自治事務						
	この事務事業の根拠法令		「平和を紡ぐつどい」開催要項									
	事業の概要				現在の状況とこの事務事業を行う根拠または理由							
	本市には、330柱の英霊があり、これらの英霊に対し、追悼の誠を捧げ、今日の平和を恒久のものとして、後世そして若き世代に継承していくため、総務課と合同で「平和の催し」を開催する。  「SDGsの取り組み：17」				過去の戦争における市内の戦没者に対して追悼の意を表し、今日享受している平和が恒久のものとして後世に語り継ぐため。							
	R5年度に実施した具体的な事業の方法、手順、指標に対する成果等			総務課と合同で企画し、第一部を戦没者の追悼、第二部を中学生平和学習広島派遣の報告、被爆体験伝承講話の二部形式とした。								
事務事業を取り巻く状況は過去と比べ変化しているか				(1) 活動指標（事務事業の活動量を表す指標）								
変 化 内 容	遺族の参加者が少なくなってきたおり、現在は平和の催しとして位置付けている。			名称		単位						
				① 平和を紡ぐつどい案内状発送者数	人							
				② 平和を紡ぐつどい開催回数	回							
対象(この事業の対象、範囲となる人、物)				(2) 対象指標（対象の大きさを表す指標）								
市民				名称		単位						
				① 人口	人							
				②								
目的(この事業によって上記対象をどのような状態にしたいのか)				(3) 成果指標（目的の達成度を示す指標）								
過去の戦争における市内の戦没者に対して追悼の意を表し、平和への祈念を新たにする。				名称		単位						
				① 催し参加者数	人							
				②								
結果(上位基本事業の意図)				(4) 結果の成果指標（上位基本事業の成果指標）								
過去の戦争における市内の戦没者に対して追悼の意を表し、平和への祈念を新たにしてもらう。				名称		単位						
				① 催し参加者数	人							
				②								
事務事業の各種指標の実績と見込及び目標												
指標 \ 年度		単位	R4年度 実績値	R5年度 計画値	R5年度 実績値	R6年度 計画値	R7年度 目標値	R8年度 目標値	R9年度 目標値			
(1)の 活動指標		① 人	374	374	324	324	324	324	324			
		② 回	1	1	1	1	1	1	1			
(2)の 対象指標		① 人	61,218	61,375	61,380	61,938	61,938	62,219	62,500			
		②										
(3)の 成果指標		① 人	250	250	188	188	188	188	188			
		②										
(4)の結果の 成果指標		① 人	250	250	188	188	188	188	188			
		②										
予算費目		会計	01 一般会計				款	03	項	01	目	01
コスト		年度	R4年度 実績値	R5年度 計画値	R5年度 実績値	R6年度 計画値	R7年度 目標値	R8年度 目標値	R9年度 目標値			
事業費(決算又は予算額) A		単位	793	848	0	710	710	210	210			
財 源 内 訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0	0			
	県支出金	千円	41	46	0	46	46	46	46			
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0	0			
	その他	千円	0	0	0	0	0	0	0			
	一般財源	千円	752	802	0	664	664	164	164			
人件費 B		千円	1,404.5	1,404.5	936.3	936.3	936.3	936.3	936.3			
正職員従事時間×人数		時間×人	133×3	133×3	133×2	133×2	133×2	133×2	133×2			
正職員以外の人件費		千円	0	0	0	0	0	0	0			
その他の費用 C		千円	61	61	61	61	61	61	61			
トータルコスト A+B+C		千円	2,258.5	2,313.5	997.3	1,707.3	1,707.3	1,207.3	1,207.3			
単位あたりコスト		千円/人	①	0	0	0	0	0	0			
(トータルコスト/(2)の対象指標)		千円/	②	0	0	0	0	0	0			

事務事業名	No.	140	平和を紡ぐつどい開催事業
-------	-----	-----	--------------

2 評価 CHECK	この事業の必要性は薄れていませんか。十分な成果が得られていますか？	<input checked="" type="checkbox"/> 得られている <input type="checkbox"/> 得られていない	理由	参加者が一定数いるため。
	事業進展等による環境変化に伴い、対象を見直す（拡大・縮小）必要はありませんか？	<input checked="" type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> ない	その理由	出席する遺族の高齢化、戦争体験者の減少による関心の希薄化により、参加者が減少傾向にあるため、内容の検討が必要。
	事業進展等による環境変化に伴い、目的を見直す（目的の追加・拡充又は絞込）必要はありませんか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない	その理由	現在は平和の催しとして位置付けている。
有効性	今以上に事業の成果を向上させる方法を記入して下さい。 ※(3)の成果指標を向上させることはできますか？	内容	特になし。	
	目的達成状況	内容	特になし。	
	市関与の必要性（実施手法）	内容	<input type="checkbox"/> 民間への一部委託 <input type="checkbox"/> 民間への全部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金・負担金助成 <input checked="" type="checkbox"/> 市の直営 市主催の催しである。	
効率性	事務事業の統廃合により、事業の効率化を図り、成果を向上させる方法を記入して下さい。	内容	近隣市町との共同開催。	
	現状より事業費・人件費を削減する方法を記入して下さい。（仕様の変更、外部委託、従事時間の削減等できないか？）	内容	催しの内容等を変更する。	
公平性	受益者負担はありますか？ また、受益者負担割合は適正ですか？	<input type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> 現状で適正 <input type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> 検討が必要 <input checked="" type="checkbox"/> 受益者がいない	内容	直接的な受益者はいない。

3 改革 改善案 ACTION	事業実施上の課題、住民・議会等からの意見と対応策	意見	特になし。	対応策	特になし。
	R6年度の事業計画は前年度から変更・追加はあるか	前年度	総務課と合同で企画し、第一部を戦没者の追悼、第二部を中学生平和学習広島派遣の報告、被爆体験伝承講話の二部形式とした。	変更追加	特になし。
	今後の事業・コスト・成果の方向性	<input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 廃止・休止		今後の事業の方向性、改革・改善案 ※今年度からの具体的な事業の進め方、手段の見直し等、各方向性の内容 戦没者への追悼と今日の平和を恒久的なものとして次代へ継承していくため「平和を紡ぐつどい」を実施していく。	
	コストの方向性	→ 維持			
	成果の方向性	→ 維持			

令和6(2024)年度 外部評価対象事務事業個別シート

事業名	行政評価システム事業	担当課	企画政策課
-----	------------	-----	-------

基本目標	取組方針	取組分野	領域
まちづくりの進め方	効果的・効率的で安定した行財政運営	行政改革・行政評価	A

事業概要	行政評価実施要綱に定める実施方針に基づき、事務事業評価や施策評価を実施することにより、Plan(計画)－Do(実施)－Check(評価)－Action(改善)のマネジメントサイクルを確立し、効果的・効率的な行財政運営を推進する。
令和5(2023)年度 の取組内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事務事業評価 担当課長による一次評価、行政評価推進会議及び行政評価委員会による二次評価、行政評価施策評価会議による三次評価を実施した。</li> <li>・施策評価 施策主管次長により施策評価シートを作成し、行政評価施策評価会議において評価を実施した。</li> <li>・行政評価アンケート 市民2,000人を対象として実施した。</li> </ul>

事業の必要性	市民ニーズ (廃止した場合の市民への影響)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎年実施している行政評価アンケートにおいて「行政評価・行政改革」の取組分野については、重要度が高い点、議会においても取り上げられている点からも、市民の関心は高いものと思われる。</li> <li>・効果的、効率的な行政経営を目指す取り組みとして、積立金や繰出金等を除く全ての事務事業及び総合計画に掲げる全ての施策を対象としているため、間接的ではあるが多くの市民に提供されるサービスである。</li> <li>・外部評価については、行政評価の精度を高める一つの手段であり必要と考える。</li> <li>・事務事業を廃止した場合は、事務事業の見直し等による統廃合等が積極的に行われず、持続可能な行財政運営に支障をきたす恐れがある。</li> </ul>
	行政が関与する 妥当性	行政内部での業務の見直しを目的としている業務であり、民間で実施することはできない業務である。

事業の成果 (実績、利用状況等)	<p>行政評価を実施することにより、プランを立て、実行し、それを評価するというサイクルで事業の必要性や効果などを検証し、事業の実施方法の見直し等に取り組むとともに次年度の予算に反映させることができた。</p> <p>○令和5(2023)年度事務事業評価の総括 評価対象事業数 443事業(令和5(2023)年度現在で行われている評価対象事業 388事業) 現状維持 324事業、拡大 30事業、改善 23事業、縮小 2事業、統合 4事業、廃止・休止 5事業</p>
---------------------	--

近隣市町村 の状況	<p>【日進市】 事務事業評価及び外部評価を実施している。事務事業評価については、令和3(2021)年度は全事務事業357事業のうち、当初予算が100万円以上で市の裁量の余地がある事業の157事業に絞って評価を実施している。令和4(2022)年度は、評価対象を実施計画に掲載がある35事業のみ評価を実施している。</p> <p>【知立市】 事務事業評価のみ実施している。平成28(2016)～平成29(2017)年度までは、維持管理事業や法定義務事業、類似評価を実施している教育部に属する事業等を除いた25事業程度について、担当課による一次評価、企画政策課による二次評価を実施している。平成30(2018)年度からは、事業費予算を伴う政策的な事務事業に絞り、事務事業点検と名称を変更して担当課による点検(一次点検)から市長・副市長による点検(四次点検)まで実施している。</p>
現在および将来 の課題	現在積立金や繰出金を除く全ての事務事業を評価しているが、評価を行う担当職員は多くの時間を要している。事務事業数が50事業以上ある課もあるため、職員の事務量が課によって大きく異なる。
その他	

コスト	科目	金額 (千円)	内容					
			報酬費	133	行政評価委員会委員報酬(委員会 6名×3回、報告1名×1回)			
	需用費	180	行政評価アンケート封筒印刷(178千円)、行政評価委員会用飲料(2千円)					
	役務費	291	行政評価アンケート郵送料(200千円)、回収郵送料(91千円)					
	合計	604						
事業費(千円)	令和5(2023)年度 実績	509	令和7(2025)年度 計画値	604	令和8(2026)年度 計画値	135	令和9(2028)年度 計画値	604

方向性	今後の事業の方向性	コストの方向性	成果の方向性
	現状維持	→ 維持	→ 維持

# 令和5(2023)年度事務事業評価の総括

## 1 事務事業評価結果

- (1) 総事務事業数 531 事業
- (2) 評価対象外事務事業 88 事業 ※人件費、積立金、還付金、繰出金など
- (3) 評価対象事業数 443 事業 ※令和5(2023)年度現在で行われている評価対象事業数は 388 事業

※ ( ) 内は前年度数値

事業の方向性		内 容	事業数	構成比
現 状 維 持		現状維持の状態で事業を継続するもの	324 (365)	83.5% (83.0%)
見 直 し	拡 大	対象の拡大や手段の充実により事業を拡大するもの	30 (33)	7.8% (7.5%)
	改 善	事業の実施方法や内容などを見直し改善するもの	23 (18)	5.9% (4.1%)
	縮 小	対象や手段の絞り込みなどにより事業を縮小するもの	2 (7)	0.5% (1.6%)
	統 合	目的が関連・類似する他の事業と統合するもの	4 (16)	1.0% (3.6%)
廃止・休止		社会情勢の変化等により事業を廃止もしくは休止するもの(当初の計画どおり終了するものを含む)	5 (1)	1.3% (0.2%)
計			388 (440)	100% (100%)

事業の方向性を「見直し(拡大・改善・縮小・統合とした事業)」「廃止・休止」とした事業は64事業で、構成比が16.5%となりました。

なお、事業名については以下のとおりです。

【拡大】30事業

施策名	事務事業名	担当課
安心して子どもを産み、育てられる環境にしよう	児童育成計画推進事業	こども政策課
	児童手当支給事務	こども政策課
	地域子育て応援事業	こども政策課
	児童発達支援事業	保育課
	保育園整備事業	保育課
	家庭児童相談・虐待防止事業	こども相談課
	母子保健指導事業	こども相談課
	出産・子育て応援事業	こども相談課
	家庭教育地域活動推進事業	学校教育課
心豊かな子どもを育てよう	みよし市教育振興基本計画推進事業	学校教育課
	現職教育事業	学校教育課
	小学校施設整備事業	学校教育課
	外国語指導助手派遣事業	学校教育課
	中学校施設整備事業	学校教育課
文化に親しみ、交流が盛んなまちにしよう	みよし悠学カレッジ講座運営事業	生涯学習推進課
生涯にわたって健康に暮らせるようにしよう	母子家庭等医療費支給事業	保険健康課
	市民病院負担金事業	こども相談課
	国体、全国大会出場激励事業	スポーツ課
豊かに暮らせるようにみんなで助け合おう	在宅医療連携システム整備事業	長寿介護課
	地域包括支援センター運営事業	長寿介護課
	介護人材育成等支援事業	長寿介護課
	地域介護予防活動支援事業	長寿介護課
地域で支え合い、災害に強いまちをつくらう	水防訓練事業	防災安全課
工業のさらなる成長を支えよう	中小企業補助事業	産業振興課
環境にやさしいまちにしよう	エコエネルギー促進事業	生活環境課
効果的・効率的で安定した行財政運営	ICT推進事業	デジタル化推進室
	公有財産管理事業	施設マネジメント推進室
	職員研修事業	人事課
透明性の高い開かれた市政	市政啓発事務	秘書広報課
その他（体系外）	電算システム管理運用事業	デジタル化推進室

【改善】 23事業

施策名	事務事業名	担当課
安心して子どもを産み、育てられる環境にしよう	子育て支援センター運営事業	保育課
	ファミリーサポート事業	保育課
	病児病後児保育事業	保育課
文化に親しみ、交流が盛んなまちにしよう	明越会館管理運営事業	協働推進課
	友好の森維持管理事業	産業振興課
生涯にわたって健康に暮らせるようにしよう	体育施設管理運営事業	スポーツ課
	スポーツ教室開催事業	スポーツ課
	カヌー競技推進事業	スポーツ課
豊かに暮らせるようにみんなで助け合おう	敬老金支給事業	長寿介護課
まちのにぎわいや魅力を生み出そう	地区拠点施設整備事業	協働推進課
	観光総務事務	産業振興課
工業のさらなる成長を支えよう	商工業活性化補助事業	産業振興課
地域の農業を守り、次代につなげよう	援農ネットみよし事業	産業振興課
緑を守り育て、まちを美しくしよう	記念樹配布事業	産業振興課
効果的・効率的で安定した行財政運営	職員任用事務	人事課
市民が参画し、ともに支え合う協働のまちづくり	協働によるまちづくり推進事業	協働推進課
透明性の高い開かれた市政	広報みよし発行事業	秘書広報課
	ファイリングシステム維持管理事業	総務課
その他（体系外）	統計事務	企画政策課
	戦没者追悼式開催事業	福祉課
	相談事業	市民課
	建築相談等事務	都市計画課
	委員会行政調査事業	議事課

【縮小】 2事業

施策名	事務事業名	担当課
安心して子どもを産み、育てられる環境にしよう	児童館等維持管理事業	こども政策課
文化に親しみ、交流が盛んなまちにしよう	郷土芸能伝承活動発表会開催事業	歴史民俗資料館

【統合】 4 事業

施策名	事務事業名	担当課
心豊かな子どもを育てよう	心の電話相談事業	子ども相談課
豊かに暮らせるようにみんなで助け合おう	高齢者訪問等事業	長寿介護課
その他（体系外）	文化の日記念式典事業	秘書広報課
	財務会計システム運用事業	財政課

【廃止・休止】 5 事業

施策名	事務事業名	担当課
生涯にわたって健康に暮らせるようにしよう	退職被保険者等療養給付事業	保険健康課
	退職被保険者等療養費支給事業	保険健康課
	退職被保険者等高額療養費支給事業	保険健康課
	退職被保険者等高額介護合算療養費支給事業	保険健康課
	プール開放事業	学校教育課

# 令和5(2023)年度みよし市行政評価市民アンケート結果

## 1 アンケート調査の実施概要

### (1) 目的

第2次みよし市総合計画(以下「総合計画」という。)に掲げた18の取組方針及び基本的な考え方における各取組に対する満足度と重要度について市民の皆さまの考えをお聞きし、今後の住みよいまちづくりに向けた取組への基礎資料とするとともに、更なる行政サービスの向上を図るためにアンケート調査を実施しました。

### (2) 調査期間

令和5(2023)年12月15日(金)から令和5(2023)年1月12日(金)まで

### (3) 調査対象者

令和5(2023)年11月1日を基準日とし、本市に住民登録されている18歳以上の市民から2,000人を無作為に抽出しました。

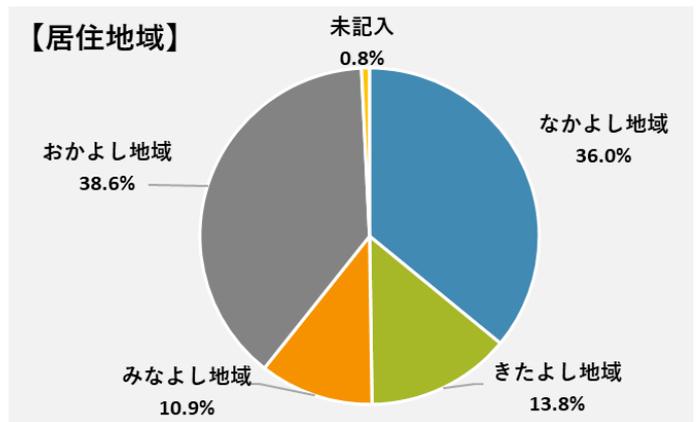
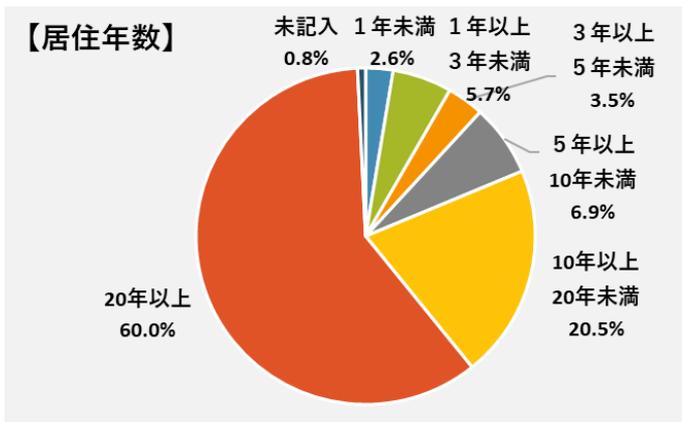
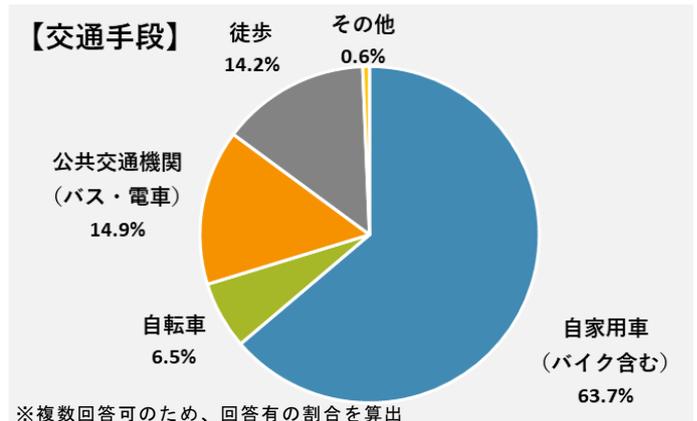
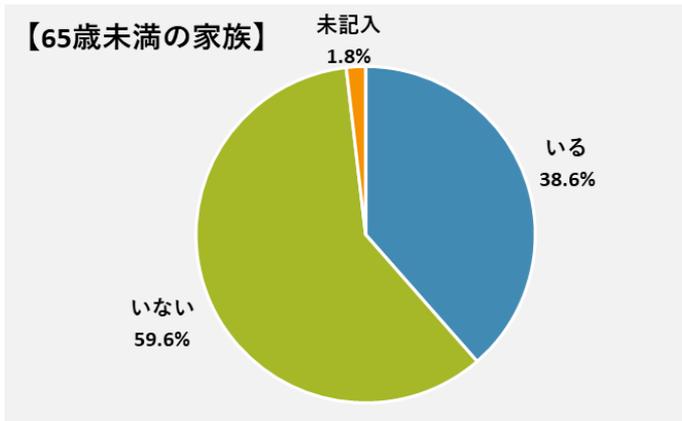
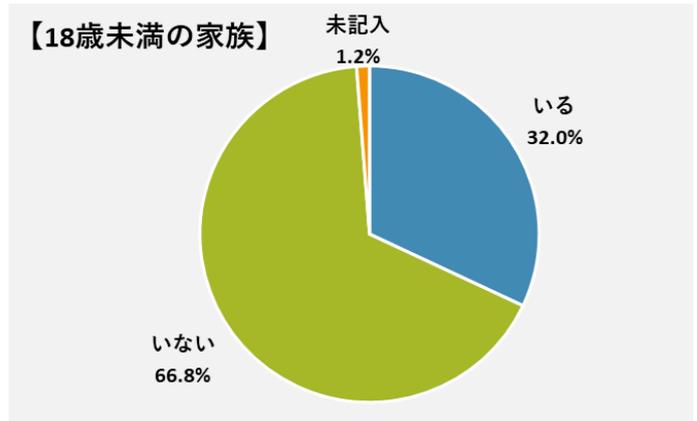
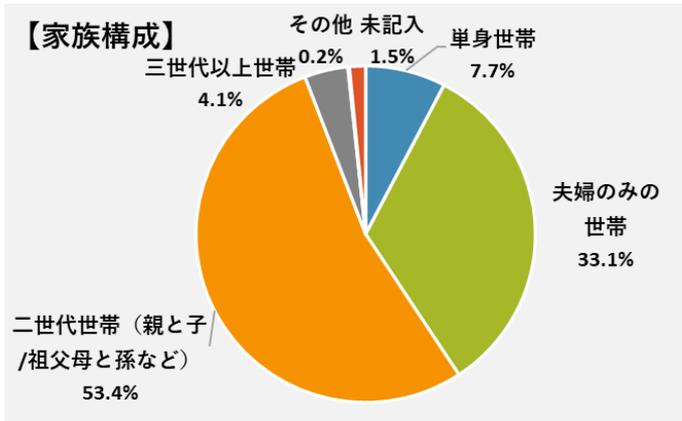
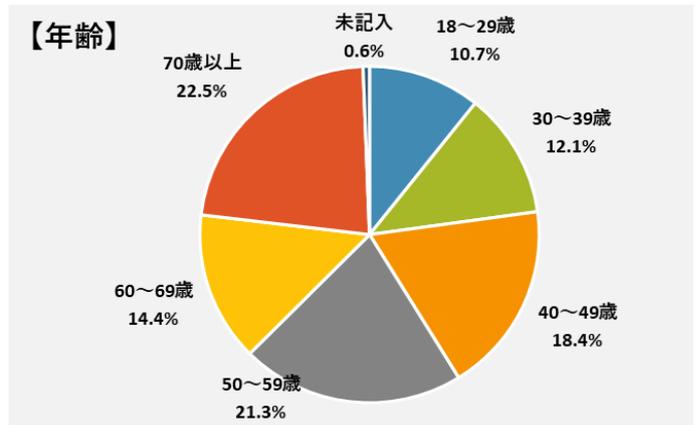
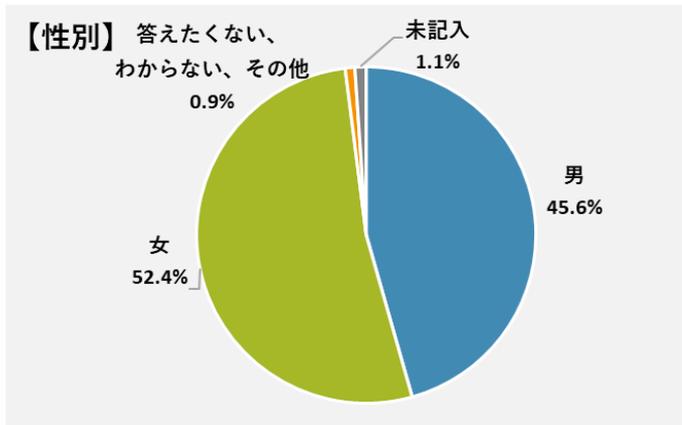
### (4) 調査方法

郵送配布(回収は、郵送、直接、インターネット)

### (5) 回答結果・回答属性

アンケートは653人(インターネット回答237人)から回答をいただきました。詳細は、以下のとおりです。

区分		11月1日時点 人口(人)	配布対象者 (A)(人)	(A)の構成比	回答数 (B)(人)	(B)の構成比	回答率 (B/A)
総計		61,394	2,000	-	653	-	32.7%
性別	男性	31,450	1,018	50.9%	298	44.3%	29.3%
	女性	29,944	982	49.1%	342	52.4%	34.8%
	答えたくない	-	-	-	6	0.9%	-
	わからない	-	-	-	7	1.1%	-
	その他 未記入	-	-	-	4	0.6%	-
年齢	18～29歳	9,233	351	17.5%	70	10.7%	20.0%
	30～39歳	7,517	284	14.9%	79	12.1%	27.8%
	40～49歳	8,626	372	18.6%	120	18.4%	32.3%
	50～59歳	10,269	423	21.2%	139	21.3%	32.8%
	60～69歳	5,936	211	10.6%	94	15.2%	44.5%
	70歳以上	9,069	359	17.9%	147	22.5%	41.0%
	未記入	-	-	-	5	0.8%	-
居住地	なかよし	23,525	802	40.1%	235	36.0%	29.3%
	きたよし	8,800	269	12.7%	90	13.8%	33.5%
	みなよし	6,472	173	8.7%	71	10.9%	40.9%
	おかよし	22,597	756	37.8%	252	38.6%	33.3%
	未記入	-	-	-	5	0.8%	-

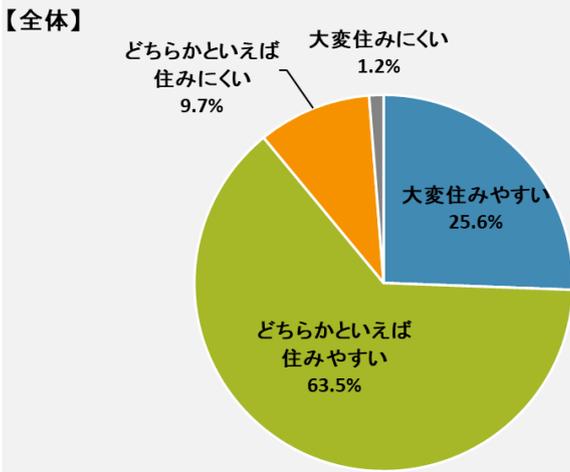


## (6) 今後の活用方法

本アンケートを行政評価(施策評価・事務事業評価)における、令和5(2023)年度の実績として活用するとともに、今後のまちづくりへの取組にあたり経年変化や回答者の属性などデータを分析することにより、効果的な行政サービスの実現のために役立てていくこととします。

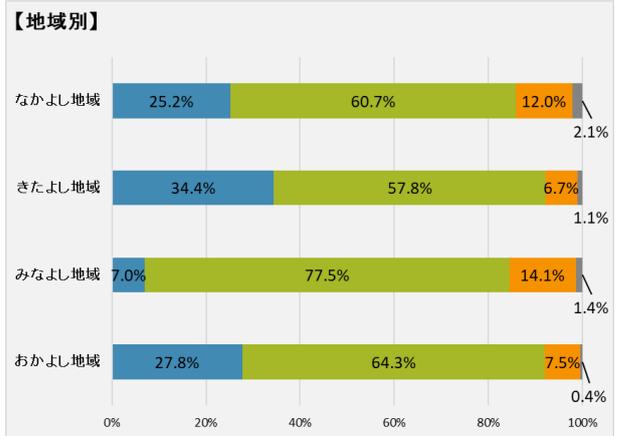
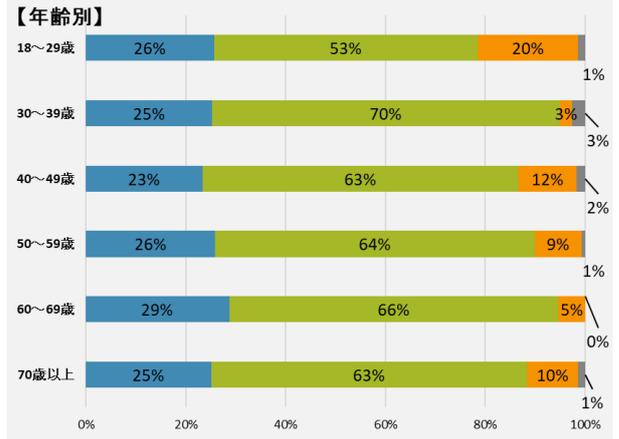
## 2 アンケート調査結果

### (1) 住みやすさについて

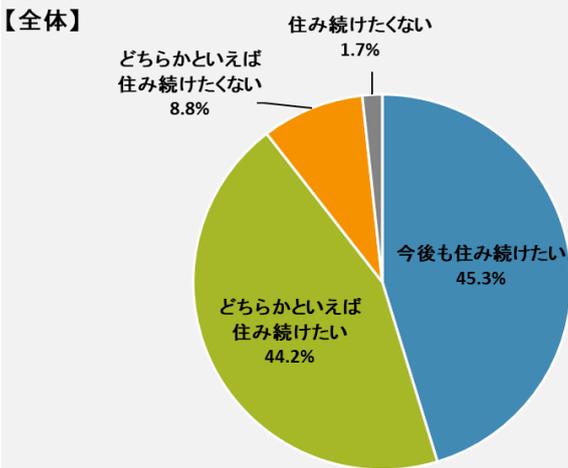


全体では「どちらかといえば住みやすい」が約 64%と最も多く、次いで「大変住みやすい」が約 26%と、約9割の人が“住みやすい”と評価しています。

回答数 649

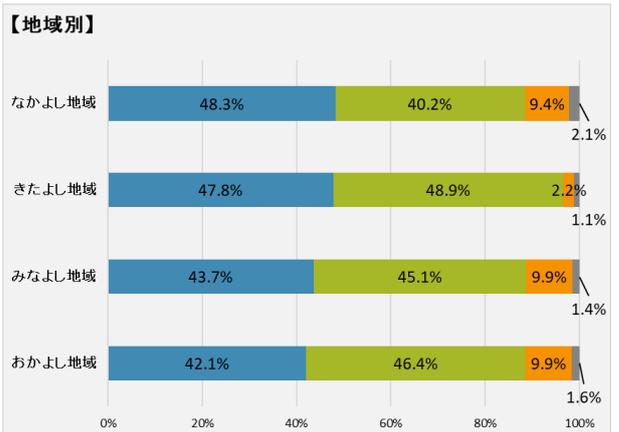
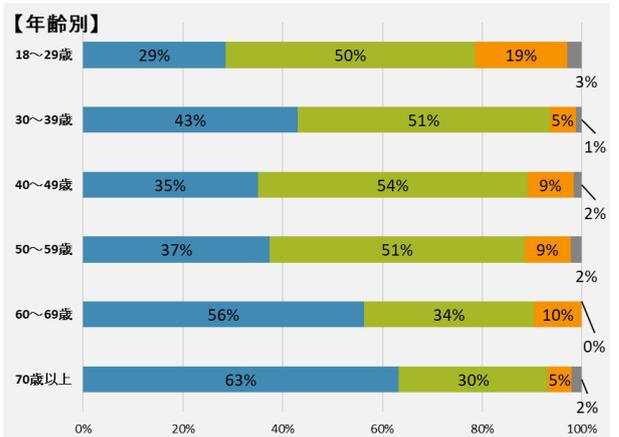


### (2) 住み続けたいかについて



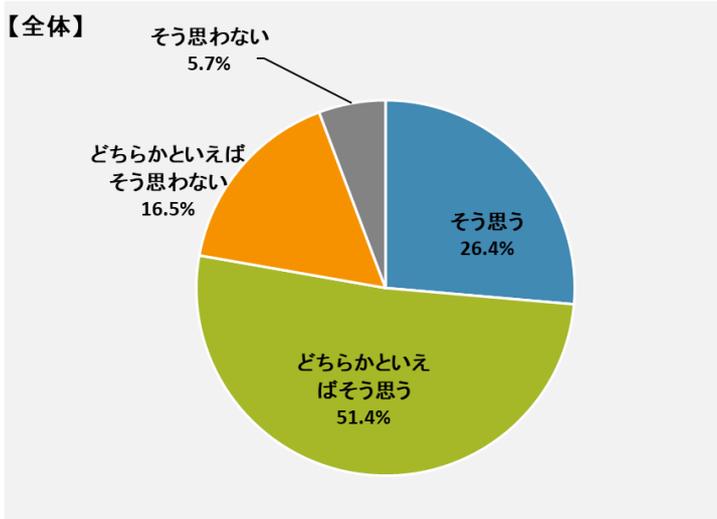
全体では「今後も住み続けたい」が約 45%、「どちらかといえば住み続けたい」が約 44%と、約9割の人が“住み続けたい”と評価しています。

回答数 649

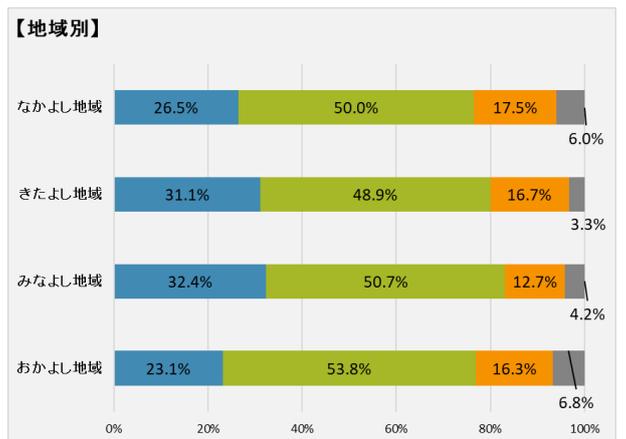
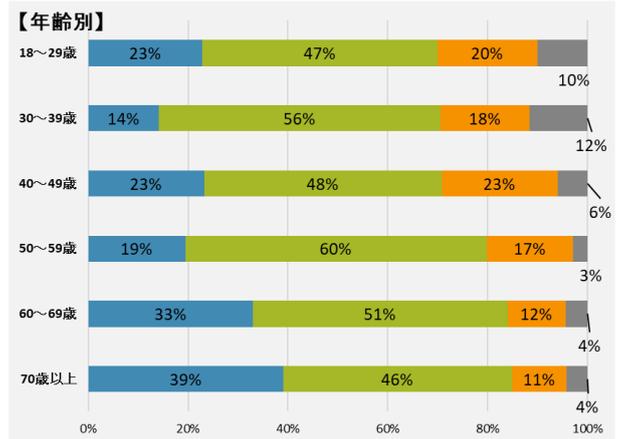


(3) 愛着や誇りを感じているかについて

回答数 649



全体では「どちらかといえばそう思う」が約 51%と最も多く、次いで「そう思う」が約 26%と、約8割の人が“愛着や誇りがある”と評価しています。



(1)から(3)の回答に対する自由意見(抜粋)

【良い点】	【良くない点】
<ul style="list-style-type: none"> <li>・医療や買い物などの施設が充実している。</li> <li>・災害が少なくて安心。</li> <li>・遊歩道や公園が整備されている。</li> <li>・市民活動が盛んである。</li> <li>・野菜や果物の直売所がたくさんある。</li> <li>・名古屋と豊田の間にあり、交通の便も悪くない。</li> <li>・治安が良く、人も温かい。</li> <li>・都会過ぎず、田舎過ぎずのんびりすごせる。</li> <li>・子育てしやすい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・車がないと交通の便が悪い。</li> <li>・施設や飲食店、観光など誇れる場所がない。</li> <li>・魅力的な場所がなくこの先不安。</li> <li>・意見が反映されている実感があまりない。</li> <li>・区の役員や近所付き合いが大変。</li> </ul>

### 3 取組方針(施策)別の満足度・重要度評価

本アンケートでは、総合計画における6つの基本目標を達成するための手段となる取組方針及び基本的な考え方における各取組に対する個別の満足度・重要度について調査を行いました。それぞれの項目の選択肢に下表のように評価点をつけて、回答者による平均点を算出し評価指標としました。

基本目標	設問	設問の概要(取組方針)
1安心してこどもを産み育て、誰もが豊かな心を育むまち	1-1	安心してこどもを産み、育てられる環境にしよう
	1-2	心豊かなこどもを育てよう
	1-3	文化に親しみ、交流が盛んなまちにしよう
2健康で生き生きと暮らせるまち	2-1	豊かに暮らせるようにみんなで助け合おう
	2-2	生涯にわたって健康に暮らせるようにしよう
3安全で安心して暮らせるまち	3-1	地域で支え合い、災害に強いまちをつくろう
	3-2	交通事故や犯罪のないまちをつくろう
4魅力と活力があふれるまち	4-1	工業のさらなる成長を支えよう
	4-2	まちのにぎわいや魅力を生み出そう
	4-3	地域の農業と多面的機能を持つ農地を守り、次代につなげよう
5自然環境を守り未来へつなぐまち	5-1	緑を守り育て、まちを美しくしよう
	5-2	環境にやさしいまちにしよう
6快適で暮らしやすいまち	6-1	生活の基盤が整ったまちをつくろう
	6-2	便利で快適な住環境をつくろう
	6-3	多様な世代の定住・移住を促進しよう
まちづくりの進め方	7-1	市民が参画し、ともに支え合う協働のまちづくり
	7-2	透明性の高い開かれた市政
	7-3	効果的・効率的で安定した行財政運営

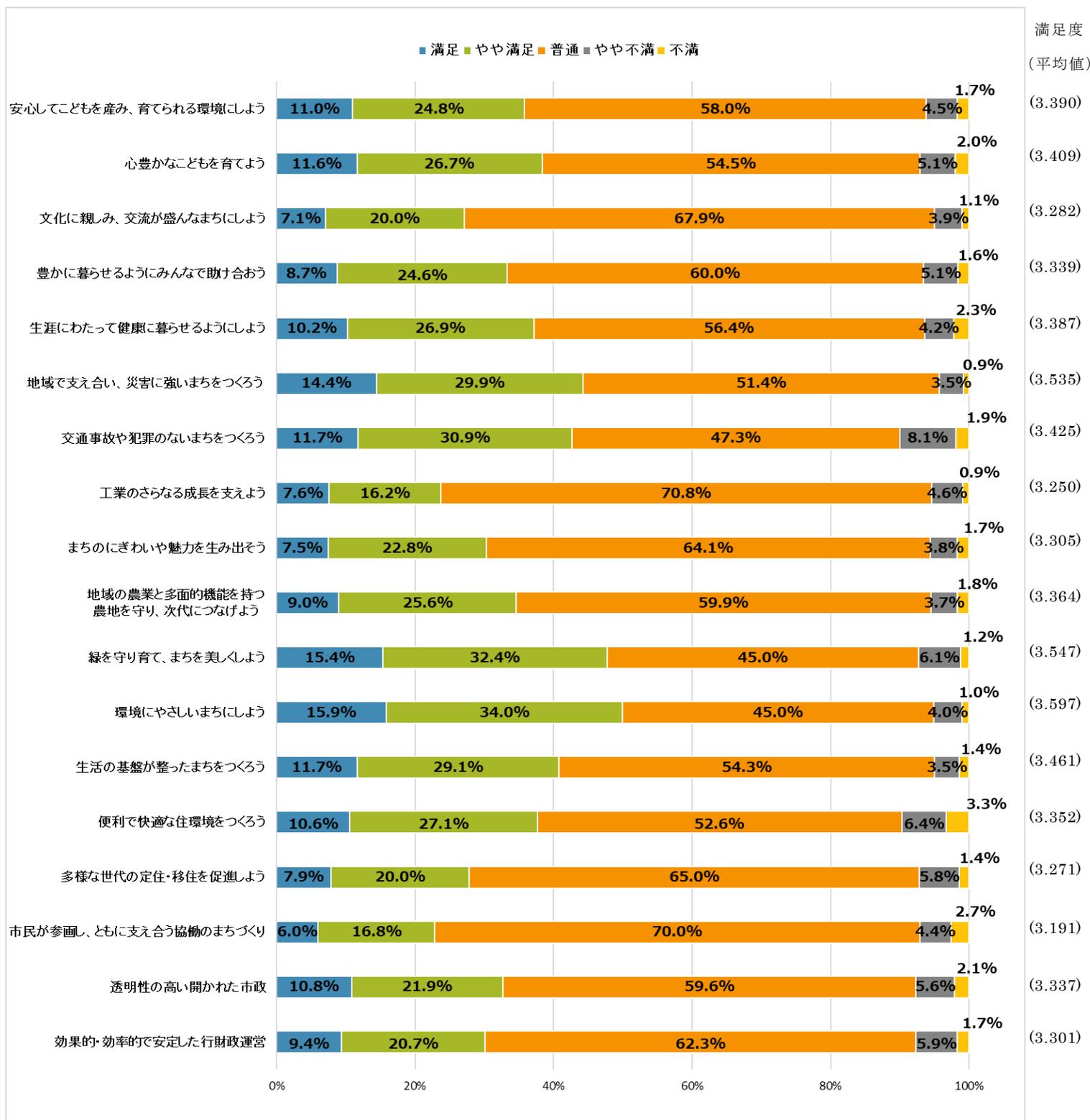
満足度	点数
満足	5点
やや満足	4点
普通	3点
やや不満	2点
不満	1点

重要度	点数
重要	5点
やや重要	4点
あまり重要でない	2点
重要でない	1点
わからない	-

## (1) 項目別満足度について

項目別満足度の平均点は 3.375 点で、「生涯にわたって健康に暮らせるようにしよう」の 3.387 点と、「地域の農業と多面的機能を持つ農地を守り、次代につなげよう」の 3.364 点の間に分布しました。上位と下位の項目は次のとおりです。

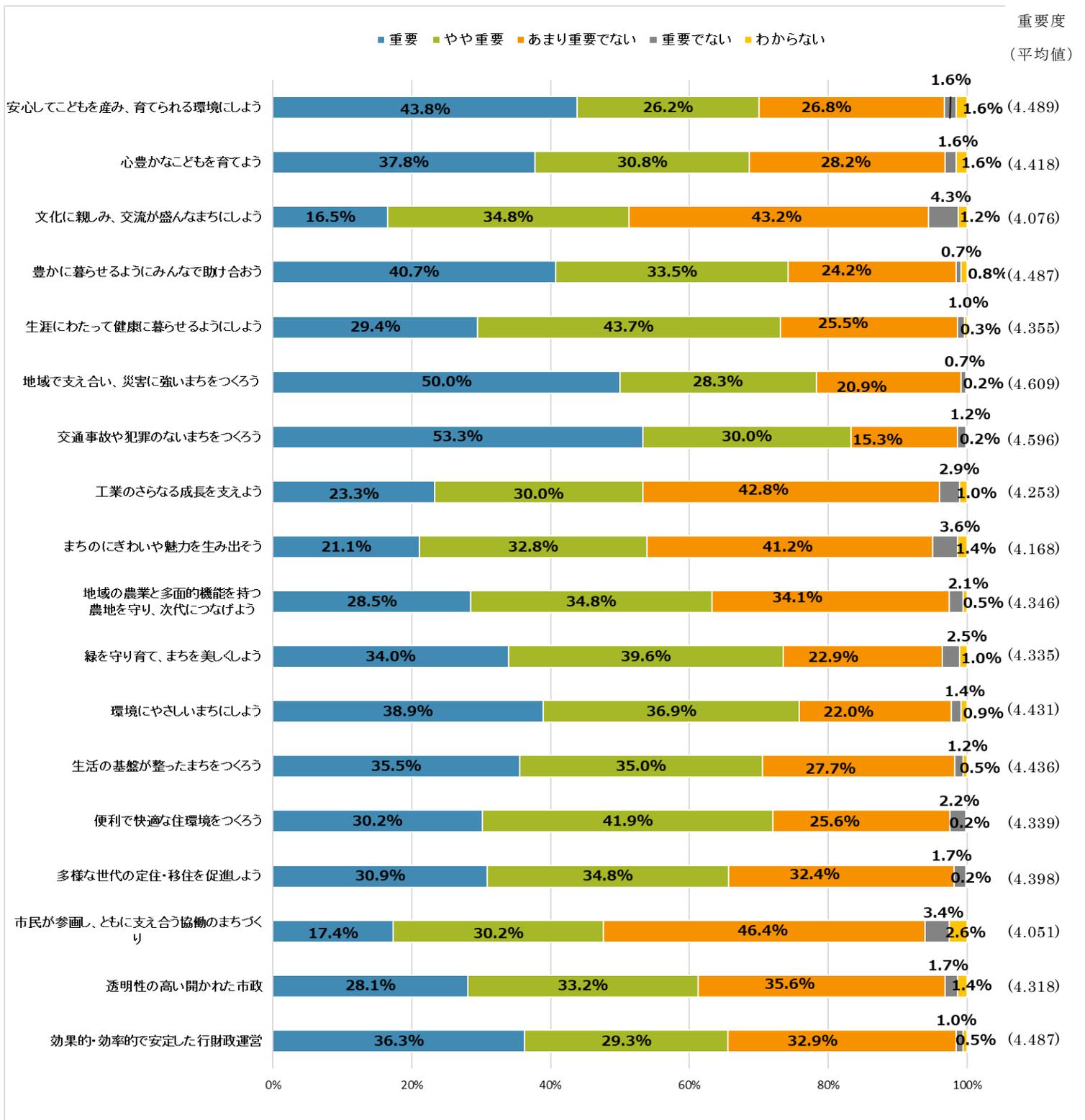
1位	環境にやさしいまちにしよう(3.597)	14位	効果的・効率的で安定した行財政運営(3.301)
2位	緑を守り育て、まちを美しくしよう(3.547)	15位	文化に親しみ、交流が盛んなまちにしよう(3.282)
3位	地域で支え合い、災害に強いまちをつくろう(3.535)	15位	多様な世代の定住・移住を促進しよう(3.271)
4位	生活の基盤が整ったまちをつくろう(3.461)	17位	工業のさらなる成長を支えよう(3.250)
5位	交通事故や犯罪のないまちをつくろう(3.425)	18位	市民が参画し、ともに支え合う協働のまちづくり(3.191)



## (2) 項目別重要度について

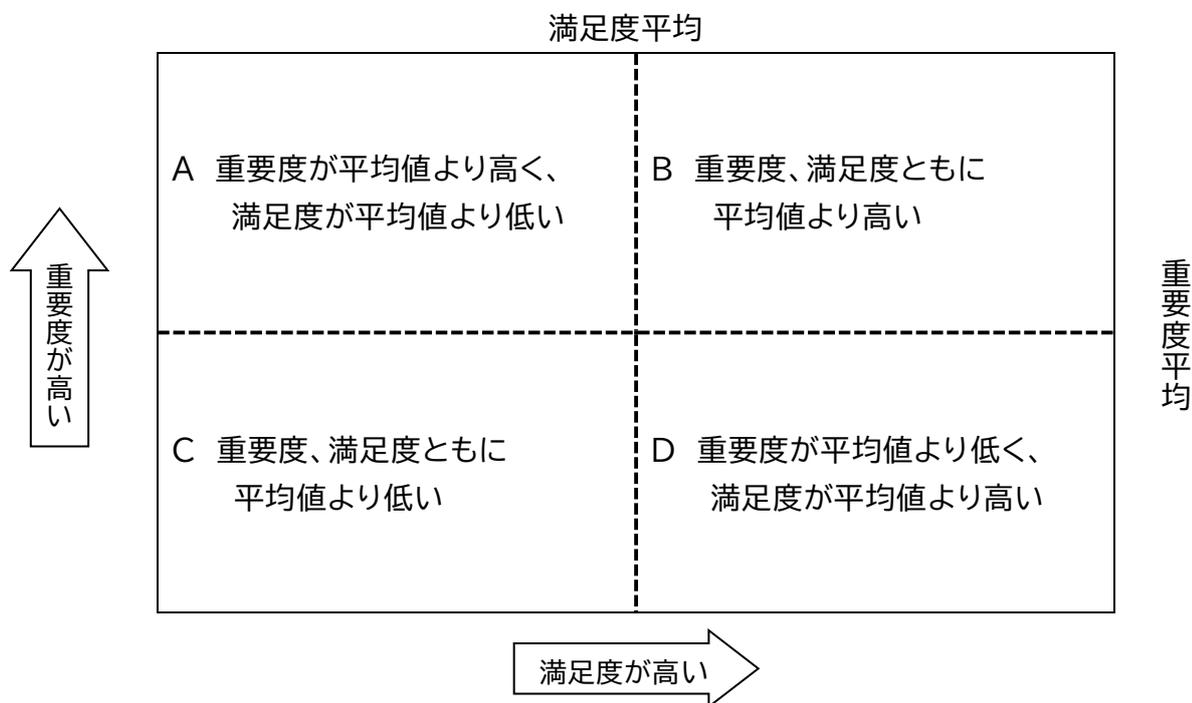
項目別重要度の平均点は 4.366 点で、「多様な世代の定住・移住を促進しよう」の 4.398 点と、「生涯にわたって健康に暮らせるようにしよう」の 4.355 点の間に分布しました。上位と下位の項目は次のとおりです。

1位	地域で支え合い、災害に強いまちをつくろう(4.609)	14位	透明性の高い開かれた市政(4.318)
2位	交通事故や犯罪のないまちをつくろう(4.596)	15位	工業のさらなる成長を支えよう(4.253)
3位	安心して子どもを産み、育てられる環境にしよう(4.489)	16位	まちのにぎわいや魅力を生み出そう(4.168)
4位	効果的・効率的で安定した行財政運営(4.487)	17位	文化に親しみ、交流が盛んなまちにしよう(4.076)
5位	豊かに暮らせるようにみんなで助け合おう(4.487)	18位	市民が参画し、ともに支え合う協働のまちづくり(4.051)



(3) 満足度、重要度の平均値散布図による分析(満足度・重要度の散布図を参照)

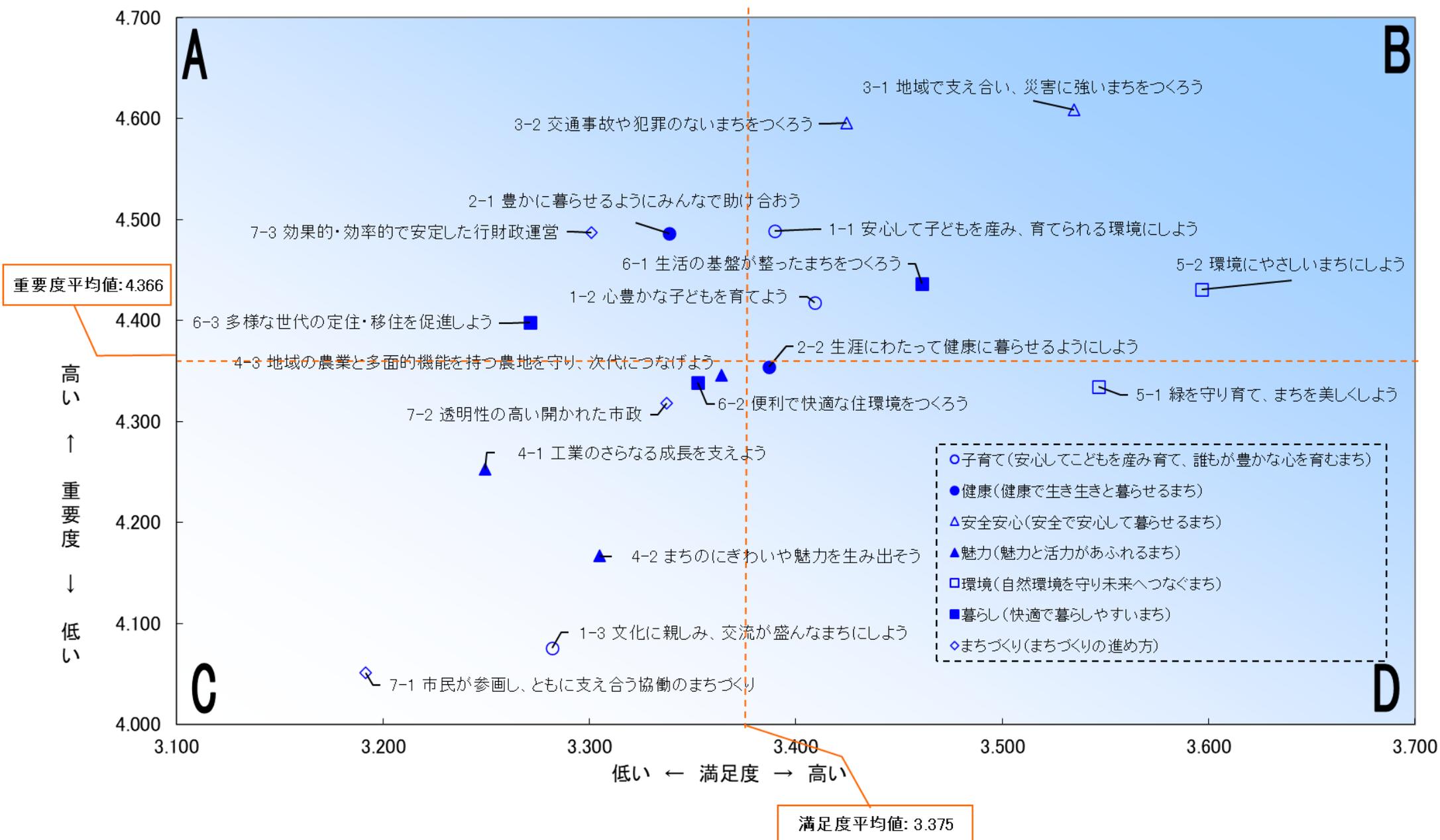
各調査項目の分布状況については、重要度を縦軸に、満足度を横軸にとり、平均値を基準として次の4つの領域に分類し分析しました。



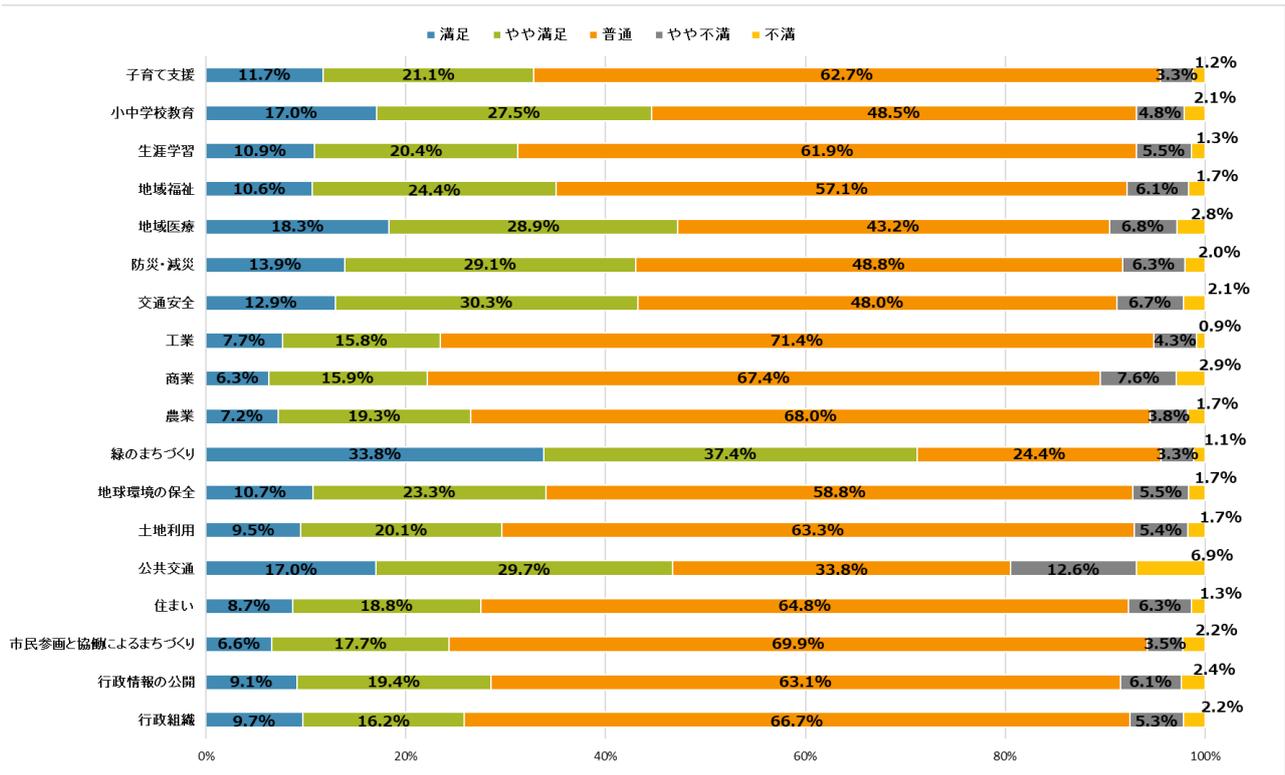
Aの領域	<p>・取組の必要性は十分認識されているものの、満足度が低く、最も充実が求められていると考えられます。このため<b>従来の取組に改善を加え、さらなる充実を図る必要がある重点項目</b>としてとらえることができます。</p> <p>「豊かに暮らせるようにみんなで助け合おう」や「効果的・効率的で安定した行財政運営」などが該当します。</p>
Bの領域	<p>・取組の必要性は十分認識され、その取組にも満足されているものと考えられます。このため<b>今後も現在の水準を維持していく項目</b>としてとらえることができます。</p> <p>「地域で支え合い、災害に強いまちをつくろう」、「安心して子どもを産み、育てられる環境にしよう」などが該当します。</p>
Cの領域	<p>・取組に対するニーズは低く、満足度も低いものと考えられます。このため、<b>今後取組の見直しなどを検討する必要がある項目</b>としてとらえることができます。</p> <p>「便利で快適な住環境をつくろう」、「まちのにぎわいや魅力を生み出そう」などが該当します。</p>
Dの領域	<p>・取組の必要性は低いが、満足されているものと考えられます。<b>今後も現状のまま保つ維持項目</b>としてとらえることができます。</p> <p>「生涯にわたって健康に暮らせるようにしよう」「緑を守り育て、まちを美しくしよう」が該当します。</p>

..

# 令和5年度 満足度・重要度の散布図



※参考 取組分野ごとの満足度(一部抜粋)

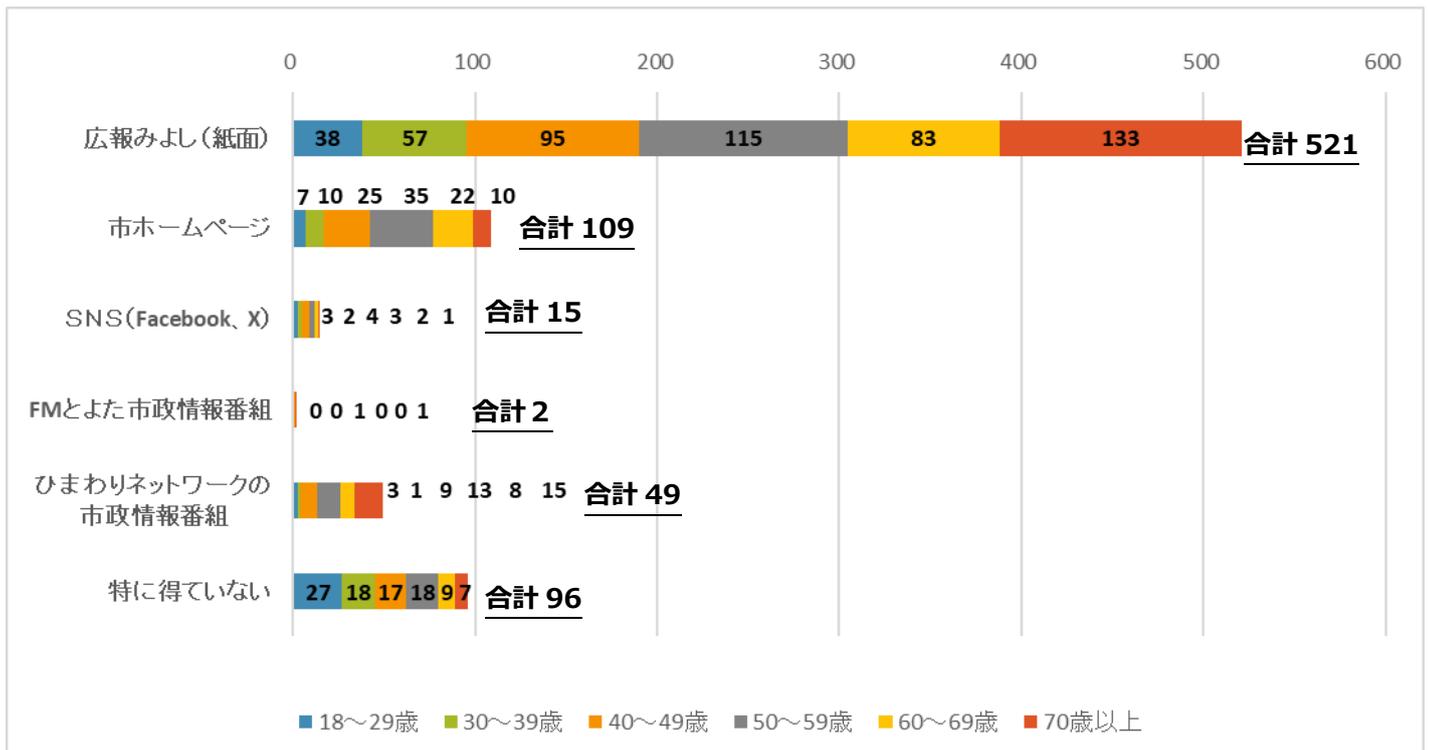


4 その他アンケート集計結果

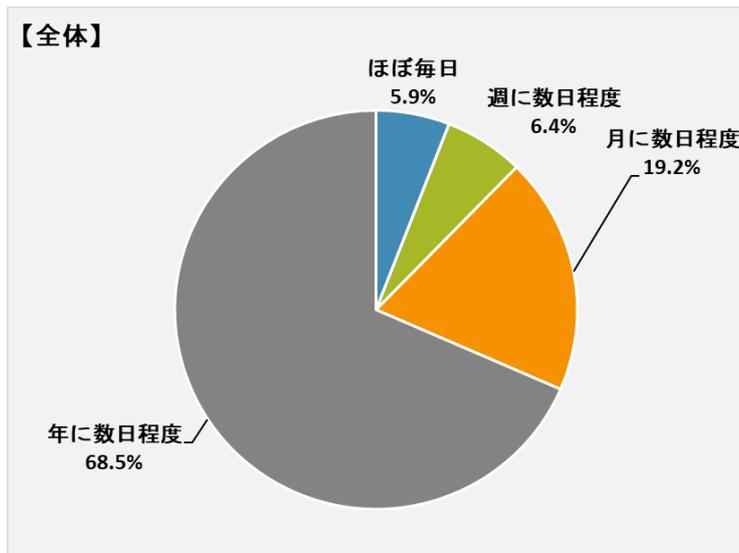
(1) 市政に関する情報の取得手段について

市政に関する情報の取得手段については、広報みよし(紙面)が最も多く521件(約66%)で、ついで市ホームページ109件(約14%)、ひまわりネットワークの市政情報番組49件(約6%)となっています。

回答数 792 (複数回答可)

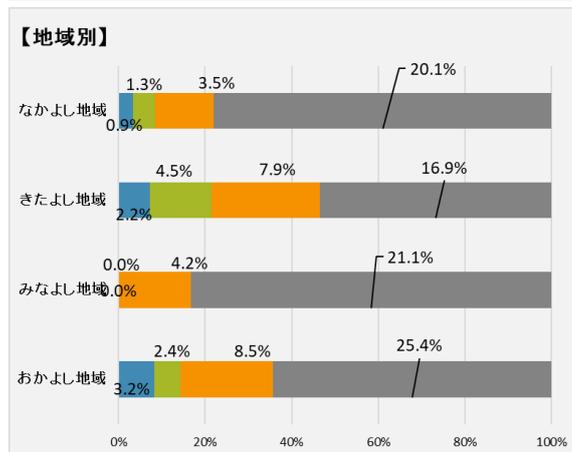
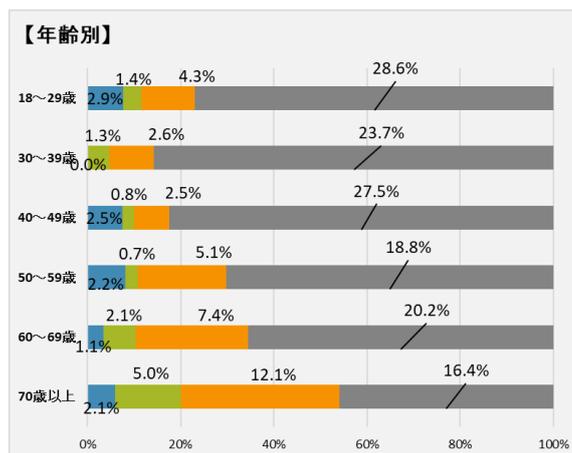


## (2) さんさんバスの利用頻度について

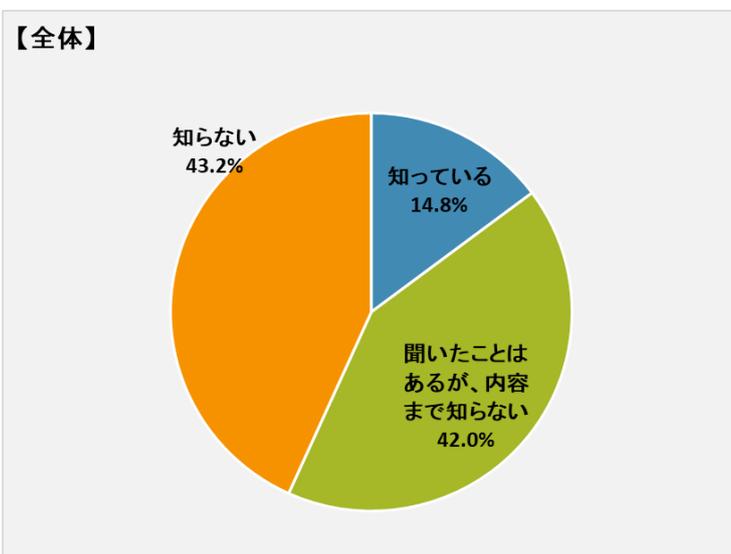


さんさんバスを利用すると答えた 203 人のうち、  
ほぼ毎日利用する人は約 6%、  
週に数日程度の人は約 6%、  
月に数日程度の人は約 19%、  
年に数日程度の人は約 69%でした。

回答数 203

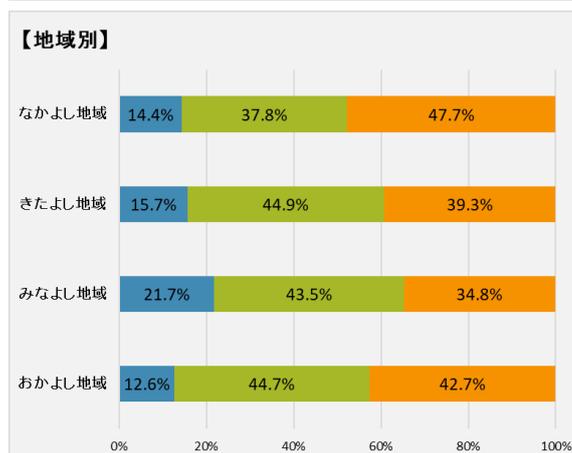
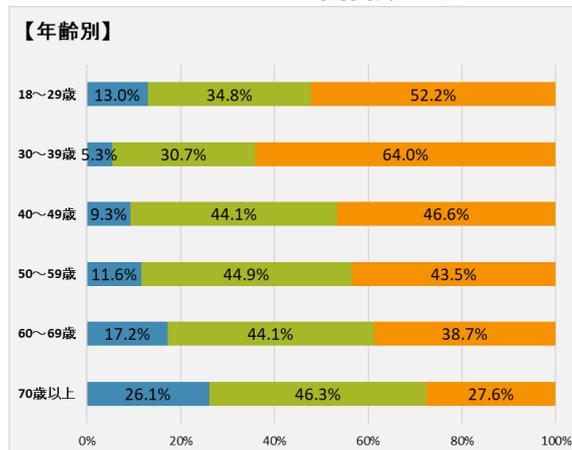


## (3) 市民憲章について

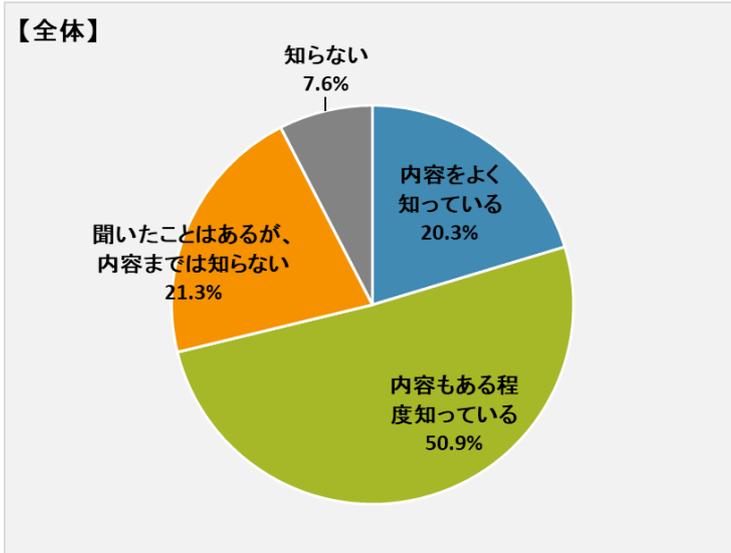


「みよし市民憲章」を聞いたことある(知っている、聞いたことがあるが内容までは知らない)人は約 57%でした。

回答数 629



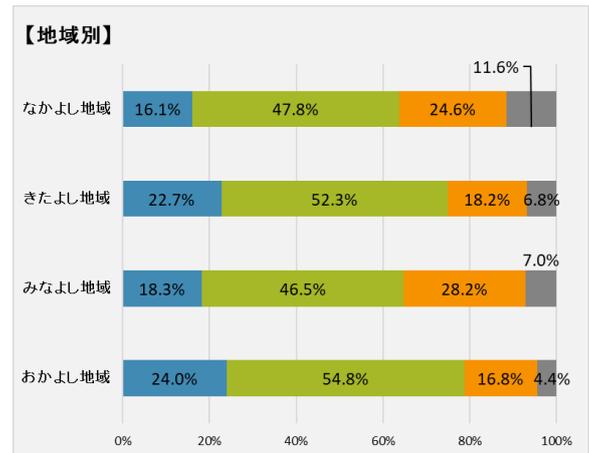
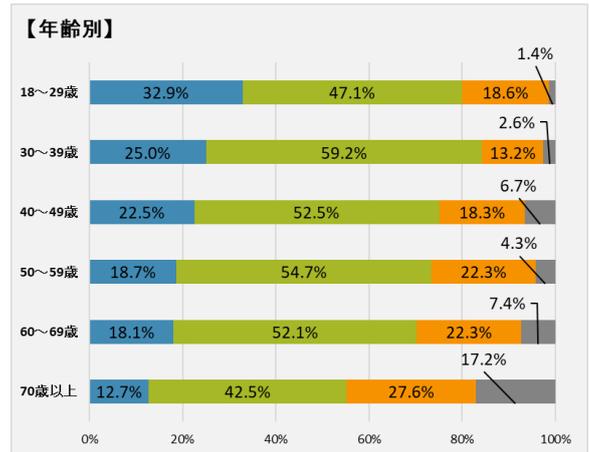
#### (4) SDGs(※)について



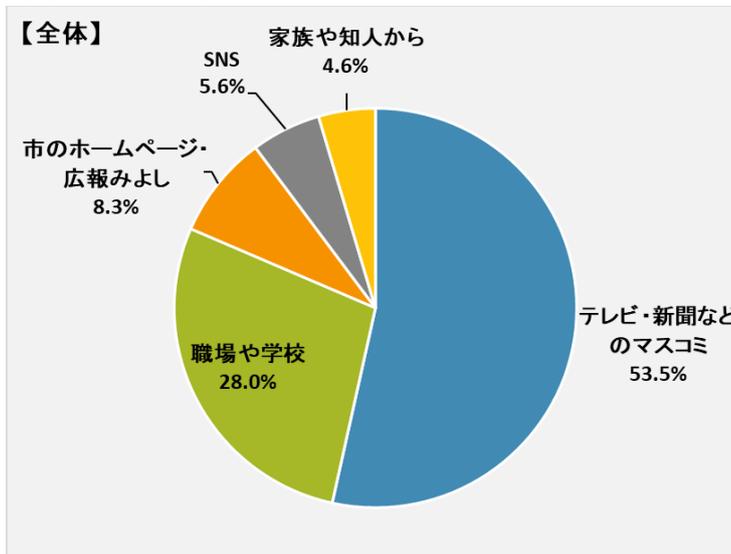
SDGs について聞いたことある人(内容をよく知っている、内容もある程度知っている、聞いたことはあるが内容までは知らない)は、約 93%でした。

※健康や教育、経済成長、気候変動などに関する 17 の持続可能な開発目標と 169 のターゲットが設定されている世界共通の目標

回答数 635

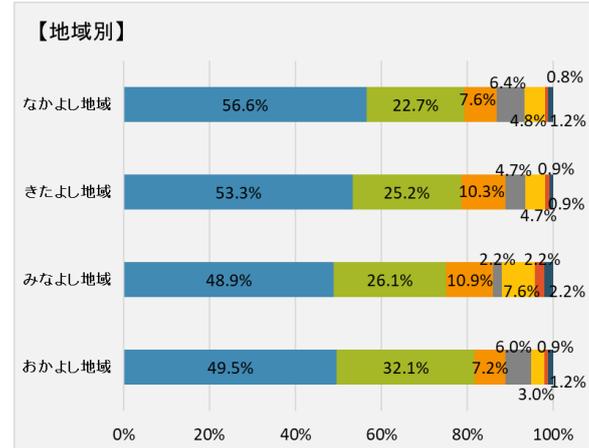
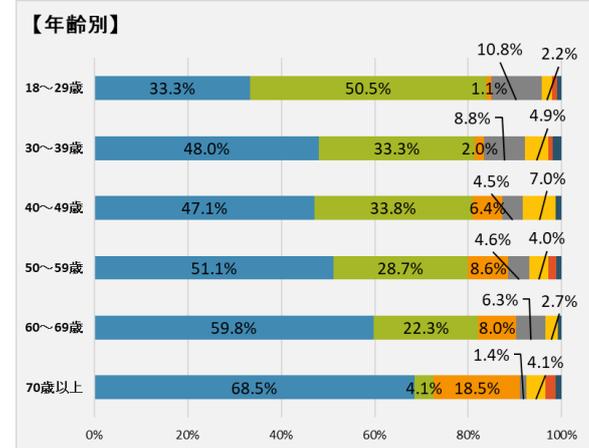


#### (5) SDGs を知ったきっかけについて



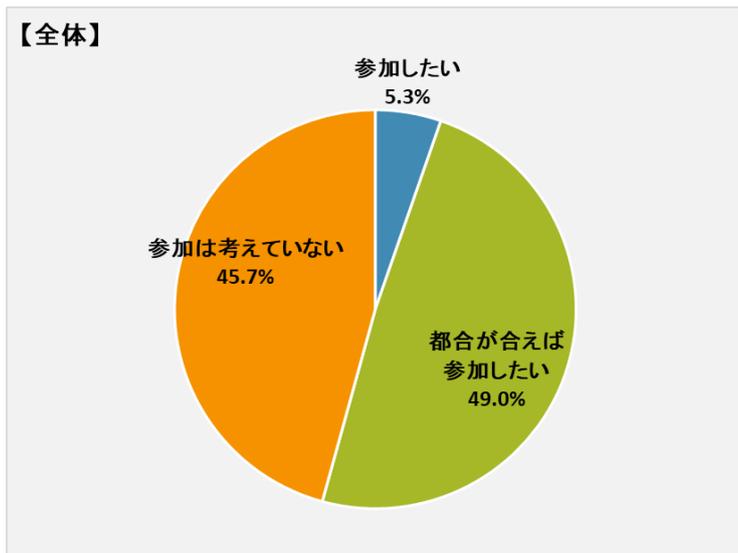
知ったきっかけについて、テレビ・新聞などのマスコミが最も多く約 54%、ついで職場や学校が 28%、市のホームページ・広報みよしが約 8%となっています。

回答数 785 (複数回答可)

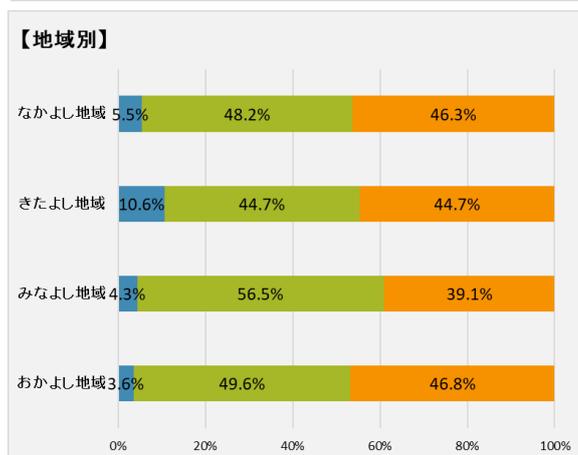
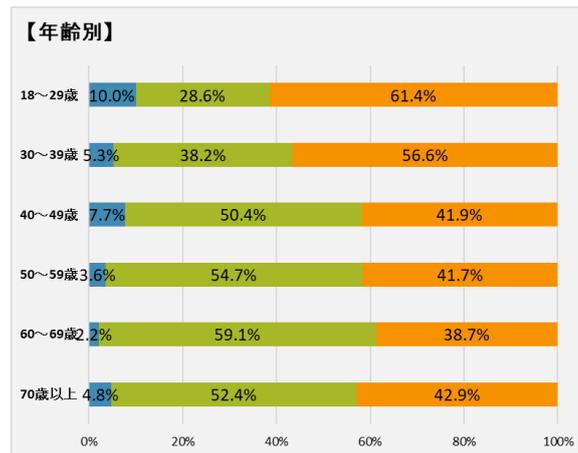


## (6) 市民参加型 SDGs イベントの参加について

回答数 623



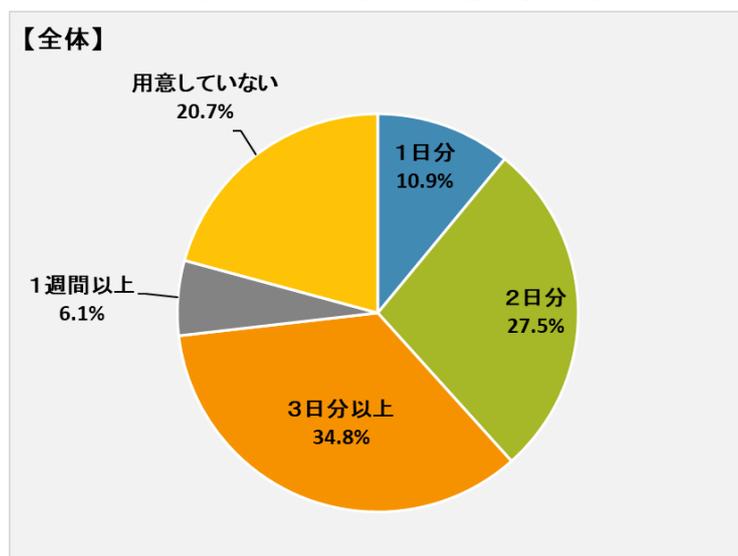
みよし市が今後開催する市民参加型 SDGs イベントに参加したいと回答した人は約 5%、都合が合えば参加したいが約 49%となっています。



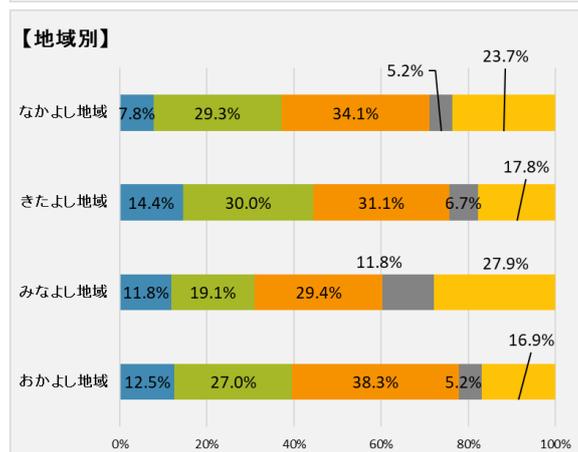
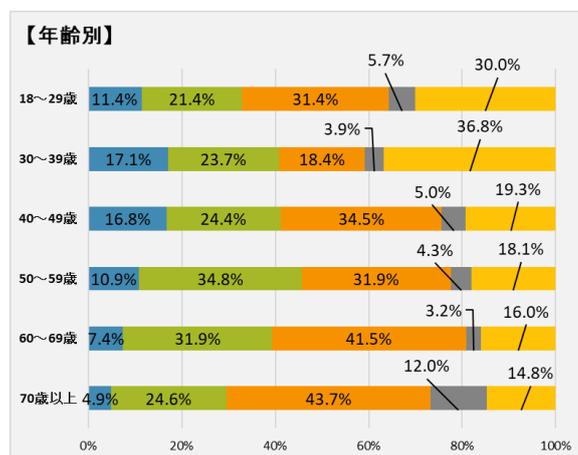
## 5 防災意識調査について

### (1) 大規模地震の発生に備えた食糧や水の備蓄について

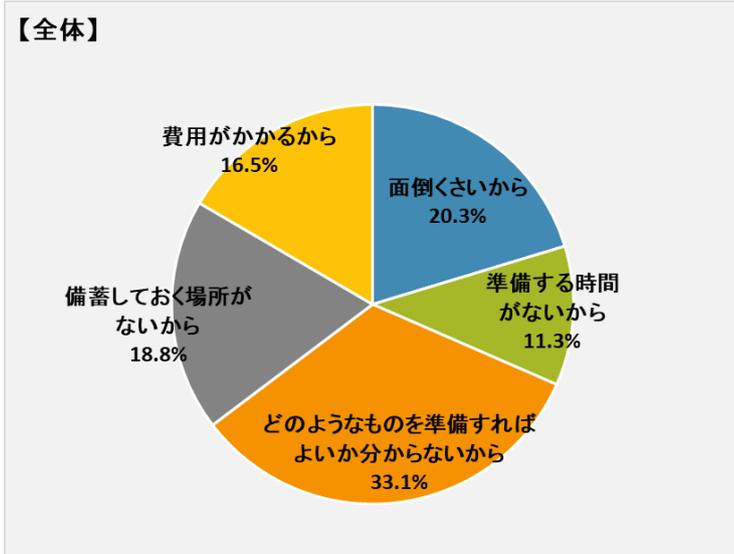
回答数 641



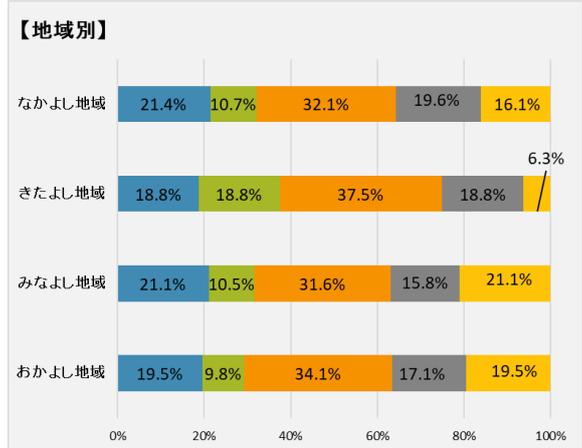
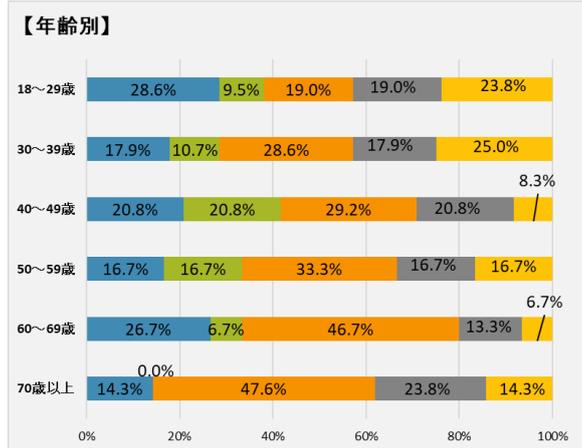
食糧や水の備蓄は3日分以上と答えた方が最も多く、約 35%となっています。



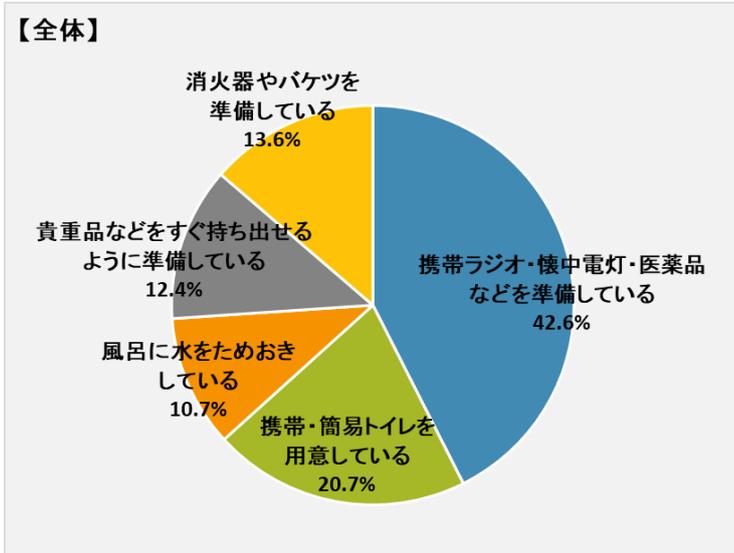
(2) 用意していない理由は次のうちどれですか。(5(1)で用意していないと回答した方) 回答数 133



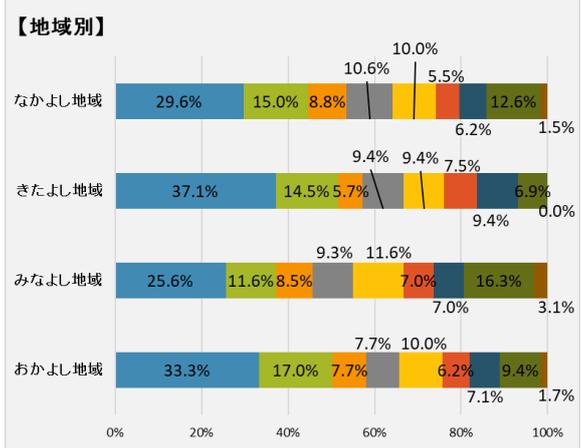
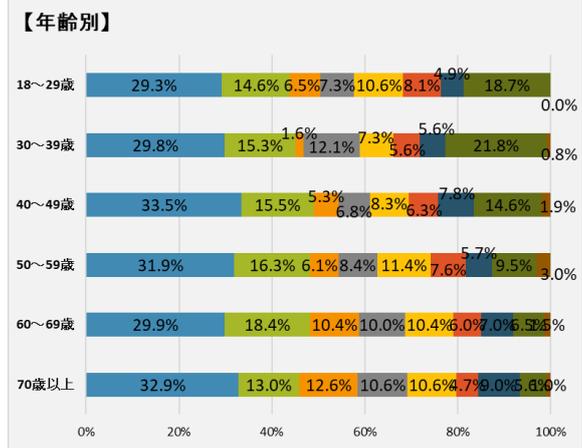
用意していない理由は、どのようなものを準備すればよいか分からないからが 33%と最も多く、面倒くさいからが約 20%、備蓄しておく場所がないからが約 19%となっています。



(3) 大規模地震の発生に備え日頃から準備しているものについて(食糧・水以外) 回答数 1,227 (複数回答可)

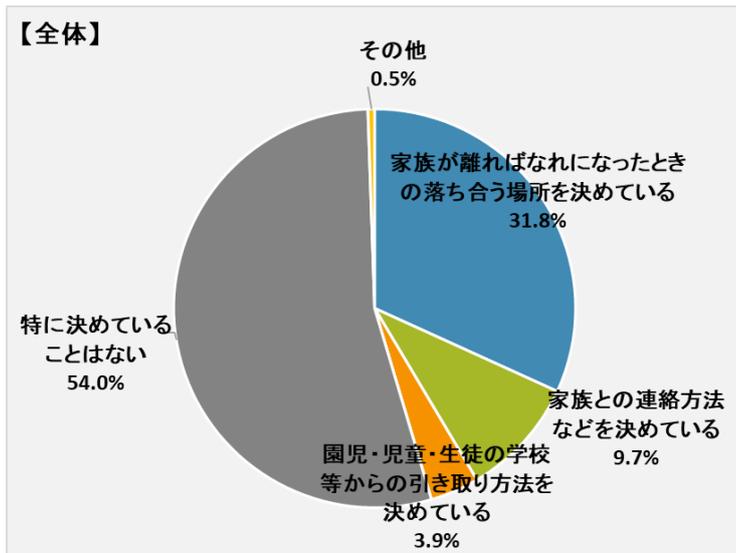


日ごろから準備しているものは、携帯ラジオ・懐中電灯・医薬品などが約 43%と最も多く、携帯・簡易トイレが約 21%となっています。

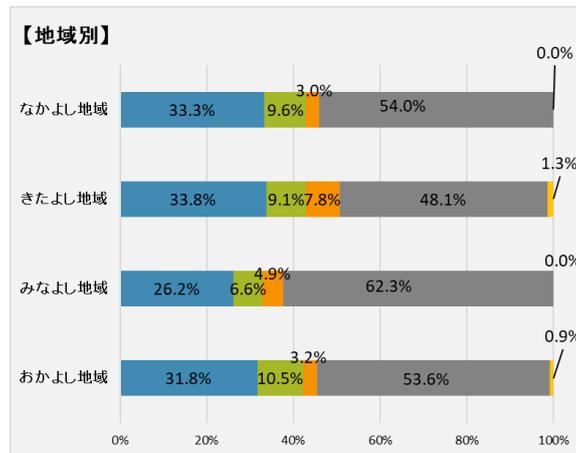
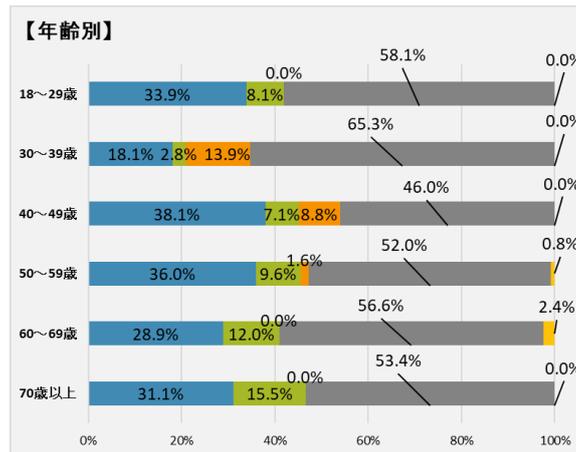


(3) 大規模災害の発生に備えて日頃から決めていることについて

回答数 559



日頃から決めていることは、家族が離ればなれになったときの落ち合う場所を決めているが約 32%となっています。



# 令和 6年度（5年度実施分）事務事業目的評価表

様式1-1

記入日

令和06年05月23日

1 事務事業 の 現 状  P L A N 及 び D O	事務事業名		No.	8	行政評価システム事業						
	この事務事業 の位置		政策	まちづくりの進め方							
			施策	効果的・効率的で安定した行財政運営							
			基本事業	行政改革・行政評価							
	主管課名		企画政策課			課長名	近藤 健				
	この事務事業の開始時期		平成14(2002)年度			事務区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 自治事務				
	この事務事業の根拠法令		みよし市行政評価実施要綱								
	事業の概要					現在の状況とこの事務事業を行う根拠または理由					
	行政評価実施要綱に定める実施方針に基づき、事務事業評価や施策評価を実施することにより、Plan(計画)－Do(実施)－Check(評価)－Action(改善)のマネジメントサイクルを確立し、効果的・効率的で安定した行財政運営を推進する。 「SDGsの取り組み：16,17」					行政運営の透明性が求められる中、限られた予算と人員で、事業を効果的かつ効率的に実施するには、事業の必要性や目的を明確にして、その事業の優先度等を客観的に判断し、重点化及び合理化を進めていく必要がある。 毎年度、行政評価アンケートを実施し、市民ニーズを把握するとともに協働によるまちづくりの達成をめざす。					
	R5年度に実施した具体的な事業の方法、手順、指標に対する成果等			・事務事業評価は、担当課長による一次評価、行政評価推進会議及び行政評価委員会による二次評価、行政評価施策評価会議による三次評価を実施した。 ・施策評価は、施策主管次長により施策評価シートを作成し、行政評価施策評価会議において評価を実施した。 ・行政評価アンケートは、市民2,000人を対象として実施した。							
事務事業を取り巻く状況は過去と比べ変化しているか					(1)活動指標（事務事業の活動量を表す指標）						
変 化 内 容	対象に変化がないため継続して実施				名称		単位				
					①	行政評価アンケート配布人数		人			
				②							
対象(この事業の対象、範囲となる人、物)					(2)対象指標（対象の大きさを表す指標）						
評価対象事務事業					名称		単位				
					①	評価対象事務事業数		事業			
					②						
目的(この事業によって上記対象をどのような状態にしたいのか)					(3)成果指標（目的の達成度を示す指標）						
効果的・効率的に事務事業を推進するため、施策の方向性を勘案し、今後の事業の方向性について、見直し（拡大・改善等）や廃止・休止を含めて評価する					名称		単位				
					①	事務事業の見直し、廃止・休止する割合		%			
					②						
結果(上位基本事業の意図)					(4)結果の成果指標（上位基本事業の成果指標）						
行政評価を実施し、評価結果を市民に広く公表する					名称		単位				
					①	行政評価に関する取組の市民満足度割合		%			
					②						
事務事業の各種指標の実績と見込及び目標											
指標 \ 年度	単位	R4年度 実績値	R5年度 計画値	R5年度 実績値	R6年度 計画値	R7年度 目標値	R8年度 目標値	R9年度 目標値			
(1)の 活動指標	① 人	2,500	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	2,500			
	②										
(2)の 対象指標	① 事業	440	440	388	382	380	380	380			
	②										
(3)の 成果指標	① %	17	15	16.5	15	15	15	15			
	②										
(4)の結果の 成果指標	① %	62.9	63	76.9	63	63	63	63			
	②										
予算費目	会計	01 一般会計				款	02	項	01	目	07
コスト	年度	R4年度 実績値	R5年度 計画値	R5年度 実績値	R6年度 計画値	R7年度 目標値	R8年度 目標値	R9年度 目標値			
事業費(決算又は予算額)A	単位	134	572	0	604	604	135	604			
	財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0		
		県支出金	千円	0	0	0	0	0	0		
		地方債	千円	0	0	0	0	0	0		
		その他	千円	0	0	0	0	0	0		
一般財源	千円	134	572	0	604	604	135	604			
人件費B	千円	4,327.2	5,050	3,494.2	3,494.2	3,494.2	3,494.2	3,494.2			
正職員従事時間×人数	時間×人	202×6	280×5	187×5	187×5	187×5	187×5	187×5			
正職員以外の人件費	千円	61	122	203	203	203	203	203			
その他の費用C	千円	121	121	295	295	295	295	295			
トータルコストA+B+C	千円	4,582.2	5,743	3,789.2	4,393.2	4,393.2	3,924.2	4,393.2			
単位あたりコスト	① 千円/事業	10.4	13.1	9.8	11.5	11.6	10.3	11.6			
	② 千円/	0	0	0	0	0	0	0			

様式1-2

事務事業名	No.	8	行政評価システム事業
-------	-----	---	------------

2 評価 CHECK	この事業の必要性は薄れていませんか。十分な成果が得られていますか？	<input checked="" type="checkbox"/> 得られている <input type="checkbox"/> 得られていない	理由	限られた資源（財源・人材）を効果的かつ効率的に配分するため必要である。
	事業進展等による環境変化に伴い、対象を見直す（拡大・縮小）必要はありませんか？	<input checked="" type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> ない	その理由	事業の内容によっては、評価することにそぐわない事業もあるため、評価対象事業の縮小を検討する必要がある。
	事業進展等による環境変化に伴い、目的を見直す（目的の追加・拡充又は絞込）必要はありませんか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない	その理由	効果的・効率的で安定した行財政運営を推進するという目的に変化はない。
有効性	今以上に事業の成果を向上させる方法を記入して下さい。 ※(3)の成果指標を向上させることはできますか？	内容	行政評価実施の際に添付する資料を、誰が見てもわかるようなものにする事で、職員一人ひとりの理解度を高め、安易に現状維持とするのではなく積極的に評価を実施していく。	
	目的達成状況	内容	各事務事業について段階的に評価を行い、統合や廃止・休止などの見直しをすることができた。	
	市関与の必要性 (実施手法)	内容	<input type="checkbox"/> 民間への一部委託 <input type="checkbox"/> 民間への全部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金・負担金助成 <input checked="" type="checkbox"/> 市の直営 事務事業及び施策の評価は、事業の主体である市が実施することが必要と考えるため。	
効率性	事務事業の統廃合により、事業の効率化を図り、成果を向上させる方法を記入して下さい。	内容	類似事業がなく統廃合できない。評価方法を工夫・改善していく。	
	現状より事業費・人件費を削減する方法を記入して下さい。（仕様の変更、外部委託、従事時間の削減等できないか？）	内容	行政評価システム全体の見直しを実施し、評価対象事業の縮小や評価方法を工夫・改善する。	
公平性	受益者負担はありますか？ また、受益者負担割合は適正ですか？	<input type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> 現状で適正 <input type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> 検討が必要 <input checked="" type="checkbox"/> 受益者がいない	内容	直接的な受益者はいない。

3 改革 改善案 ACTION	事業実施上の課題、住民・議会等からの意見と対応策	意見	事業の透明性や説明責任を確保するため、評価に十分に時間を割く必要があるが、事業数の多い担当課の負担が大きい。	対応策	評価対象事業の再検討や評価の効率性を確保する。
	R6年度の事業計画は前年度から変更・追加はあるか	前年度	事務事業評価、施策評価、行政評価アンケート（対象：2,000人）を実施した。	変更追加	継続して実施する必要があるため、前年度と同様・同規模で実施する。
	今後の事業・コスト・成果の方向性		今後の事業の方向性、改革・改善案 ※今年度からの具体的な事業の進め方、手段の見直し等、各方向性の内容 効果的・効率的で安定した行財政運営を推進するため、今後も継続して事業を実施する。		
		<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 廃止・休止			
コストの方向性		→ 維持			
成果の方向性		→ 維持			

令和6(2024)年度 外部評価対象事務事業個別シート

事業名	計画行政推進事務	担当課	企画政策課
基本目標	取組方針	取組分野	領域
その他	その他(体系外)	その他	—

事業概要	<p>総合計画に基づくまちづくりを計画的に推進するため、3年間ごとの実施計画を策定し、毎年度、ローリング方式で見直しを実施することで、総合計画の進行管理を行っている。市民のシビックプライド醸成を目的に、シティプロモーション事業を実施している。SDGs推進を目的に、啓発事業を実施している。市内に設置している74体の彫刻について、維持管理を行っている。</p>
令和5(2023)年度 の取組内容	<p>令和6(2024)年度から令和8(2026)年度までを計画期間とする実施計画を策定した。シティプロモーション事業として344バリエアスタンプラリーを実施した。市の職員と市内大学の大学生で組織するSDGs推進プロジェクトチームを結成し、SDGsフォト&amp;ムービーコンテストや市内小学校で出前講座を開催した。また、SDGs推進パートナーと連携した事業に取り組んだ。市内に設置してある74体の彫刻について調査を実施し、倒壊の危険性があり、補強又は修繕が必要な彫刻の洗い出しを行った。</p>

事業の必要性	市民ニーズ (廃止した場合の市民への影響)	「彫刻のまちみよし」として、市民が身近にある芸術に慣れ親しむことができるように彫刻を市内各所に設置しているため、彫刻がなくなった場合、市民が身近に芸術を感じるができなくなる。
	行政が関与する 妥当性	彫刻作品は、市が主催で「アートヒル三好彫刻フェスタ」を開催していた経緯もあり、図面等も市が管理しているため、民間で実施できない業務である。
事業の成果 (実績、利用状況等)	<p>市内に設置してある74体の彫刻について調査を実施し、早急な修繕が必要とされた作品は12作品であった。12作品のうち、三好公園の「風の門」、カネヨシプレイスの「三使徒」については、令和5(2023)年度に修繕を行った。令和6(2024)年度には、カネヨシプレイスの「RONDO」、福祉センターの「術懐」、みなよし台の「羅・in」の修繕を実施する。修繕を実施する際は、作者に連絡をとり、許可をとってから実施している。</p>	

近隣市町村 の状況	<p>【碧南市】 屋外に24作品の彫刻を設置している。点検は基本職員による目視点検であるが、5年に一度、目視で確認できないところを業者に委託して実施している。彫刻を処分するという意見も市の中であるが、作者が亡くなっているということや、どのように処分を行うか等検討すべきことが多く、方向性が決まっていない。</p> <p>【北名古屋市】 屋外に57作品の彫刻を設置している。名古屋芸術大学が彫刻の製作に関わっているため、名古屋芸術大学を通じて作者と連絡をとり、修繕等を行っている。状態がひどいものについては撤去を行っている。作者の確認を行うが、連絡が取れない場合は、許可をとらずに撤去をしている。</p>
現在および将来 の課題	<p>一番古い彫刻作品は設置からすでに30年以上経過しており、腐食等が進んでいる作品もある。令和5(2023)年度に実施した調査の結果、「早急な改善が必要」と判定された12作品を順次整備をしていく必要がある。しかし、美術品の著作権の保護期間は著作権の死後70年を経過するまでとされており、作者の許諾を得ずに無断で補修することは、トラブルに発展する可能性がある。作者と連絡をとることが必須となるが、作者の連絡先自体が30年以上前のものしかないため、連絡先を確認する必要がある。また、全ての彫刻作品を修繕するには長い年月がかかり、多額の費用が必要となる。今後、状態が悪く、修復不可能となる彫刻も出てくる可能性があり、彫刻の維持管理を検討する必要がある。</p>
その他	

コスト	令和6 (2024) 年度予算	科目	金額 (千円)	内容			
		報償費	205 (彫刻 0)	講師謝礼40千円、その他報償費165千円			
		旅費	372 (彫刻 0)	普通旅費9千円(名古屋市)、研修旅費363千円(先進地施設:東京都等)			
		需用費	5,258 (彫刻 2,453)	消耗品費1,503千円(シティプロモーションコットンバッグ等)、印刷製本費1,220千円(チラシ等)、賄材料費80千円(フェスタ給食賄材料費)、修繕費2,453千円(彫刻修繕費)、会議等食糧費2千円			
		役務費	22 (彫刻 0)	傷害保険料12千円(SDGs推進事業保険料)、手数料10千円(フェスタ営業許可申請手数料)			
		委託料	20,318 (彫刻 0)	保守・点検等委託料88千円、検査委託25千円、調査・研究委託料13,750千円(福谷北まちづくり調査検討業務委託等)、その他委託料6,455千円(メタバース空間構築・支援業務委託等)			
		負担金、補助及び交付金	210 (彫刻 0)	一般負担金210千円			
		合計	26,385 (彫刻 2,453)				
事業費(千円)	令和5(2023)年度 実績	令和7(2025)年度 計画値	令和8(2026)年度 計画値	令和9(2028)年度 計画値			
	12,490 (彫刻 495)	22,727 (彫刻 3,300)	14,033 (彫刻 3,520)	9,773 (彫刻 500)			

方向性	今後の事業の方向性	コストの方向性	成果の方向性
	現状維持	↓ 減少	↑ 増加

# 令和6年度（5年度実施分）事務事業目的評価表

様式1-1

記入日

令和06年05月23日

1 事務事業 の 現 状  P L A N 及 び D O	事務事業名		No.	5	計画行政推進事務						
	この事務事業の位置		政策		その他						
			施策		その他（体系外）						
			基本事業		その他						
	主管課名		企画政策課			課長名	近藤 健				
	この事務事業の開始時期		昭和59(1984)年度			事務区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 自治事務				
	この事務事業の根拠法令		なし								
	事業の概要					現在の状況とこの事務事業を行う根拠または理由					
	総合計画に基づくまちづくりを計画的に推進するため、3年間ごとの実施計画を策定し、毎年度、ローリング方式で見直しを実施することで、総合計画の進行管理を行っている。 市民のシビックプライド醸成を目的に、シティプロモーション事業を実施している。 SDGs推進を目的に、啓発事業を実施している。 「SDGsの取組：1, 2, 3, 4, 5, 6, 7, 8, 9, 10, 11, 12, 13, 14, 15, 16, 17」					総合計画では、実施計画について毎年度、ローリング方式で見直しをすることと定めている。また、基本計画は計画の中間年に見直しを行うことと定めており、令和5(2023)年度に中間年を迎えたため、令和6(2024)年度からの後期基本計画の策定を行った。 第2期みよし市まち・ひと・しごと創生総合戦略の基本目標において、SDGsの視点を意識して各施策に取り組むこととしている。					
	R5年度に実施した具体的な事業の方法、手順、指標に対する成果等			令和6(2024)年度から令和8(2026)年度までを計画期間とする実施計画を策定した。シティプロモーション事業として344バリエアスタンプラリーを実施した。市の職員と市内大学の大学生で組織するSDGs推進プロジェクトチームを結成し、SDGsフォト&ムービーコンテストや市内小学校で出前講座を開催した。また、SDGs推進パートナーと連携した事業に取り組んだ。							
事務事業を取り巻く状況は過去と比べ変化しているか					(1) 活動指標（事務事業の活動量を表す指標）						
変 化 内 容	「第2次みよし市総合計画」の策定に合わせ、新しい施策体系により各事務事業を実施している。				名称		単位				
					①	総合計画施策数			施策		
		②									
対象(この事業の対象、範囲となる人、物) 事務事業（実施計画）					(2) 対象指標（対象の大きさを表す指標）						
		名称		単位							
		①	一般会計（計画額）	億円							
		②									
目的(この事業によって上記対象をどのような状態にしたいのか) 施策を計画的に推進する。					(3) 成果指標（目的の達成度を示す指標）						
		名称		単位							
		①	各施策の成果指標達成率	%							
		②									
結果(上位基本事業の意図) 施策体系外					(4) 結果の成果指標（上位基本事業の成果指標）						
		名称		単位							
		①	なし	/							
		②									
事務事業の各種指標の実績と見込及び目標											
指標 \ 年度	単位	R4年度 実績値	R5年度 計画値	R5年度 実績値	R6年度 計画値	R7年度 目標値	R8年度 目標値	R9年度 目標値			
(1)の 活動指標	① 施策	15	15	15	15	15	15	15			
	②										
(2)の 対象指標	① 億円	256	250	289	250	250	250	250			
	②										
(3)の 成果指標	① %	36.8	50	45.6	55	60	65	70			
	②										
(4)の結果の 成果指標	① /										
	②										
予算費目	会計	01 一般会計				款	02	項	01	目	02
コスト	年度	R4年度 実績値	R5年度 計画値	R5年度 実績値	R6年度 計画値	R7年度 目標値	R8年度 目標値	R9年度 目標値			
財 源 内 訳	事業費(決算又は予算額) A	単位	14,308	13,622	0	26,385	22,727	14,033	9,773		
	国庫支出金	千円	3,293	0	0	0	0	0	0		
	県支出金	千円	0	0	0	0	0	0	0		
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0	0		
	その他	千円	0	50	0	87	27	27	27		
一般財源	千円	11,015	13,572	0	26,298	22,700	14,006	9,746			
人件費 B	千円	10,834.6	9,856	8,553.6	8,553.6	8,553.6	8,553.6	8,553.6			
正職員従事時間×人数	時間×人	513×6	560×5	486×5	486×5	486×5	486×5	486×5			
正職員以外の人件費	千円	0	0	0	0	0	0	0			
その他の費用 C	千円	1,979	1,979	2,377	2,377	2,377	2,377	2,377			
トータルコスト A+B+C	千円	27,121.6	25,457	10,930.6	37,315.6	33,657.6	24,963.6	20,703.6			
単位あたりコスト	① 千円/億円	105.9	101.8	37.8	149.3	134.6	99.9	82.8			
(トータルコスト/(2)の対象指標)	② 千円/	0	0	0	0	0	0	0			

様式1-2

事務事業名		No.	5		計画行政推進事務		
2 評価 CHECK	目的 妥当性	この事業の必要性は薄れていませんか。十分な成果が得られていますか？	<input checked="" type="checkbox"/> 得られている <input type="checkbox"/> 得られていない	理由	毎年度、実施計画をローリング方式により見直しすることで、向こう3年間の方向性を示すことと、次年度予算編成を効率的に実施することができている。		
		事業進展等による環境変化に伴い、対象を見直す（拡大・縮小）必要はありませんか？	<input checked="" type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> ない	その理由	効率的に事業を推進するため、事務事業の統合や廃止・休止を行っていく必要がある。		
		事業進展等による環境変化に伴い、目的を見直す（目的の追加・拡充又は絞込）必要はありませんか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない	その理由	総合計画を計画的に推進するために必要である。		
	有効性	今以上に事業の成果を向上させる方法を記入して下さい。 ※(3)の成果指標を向上させることはできますか？	内容	各事務事業をPDCAサイクルで見直しすることによって事業の成果を向上させる。			
		目的達成状況	内容	施策評価及び事務事業評価により、事業の進捗状況や成果指標の達成度などを確認、評価することができた。			
		市関与の必要性（実施手法）	内容	<input type="checkbox"/> 民間への一部委託 <input type="checkbox"/> 民間への全部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金・負担金助成 <input checked="" type="checkbox"/> 市の直営 事業の性質上職員が実施することが必要である。			
	効率性	事務事業の統合により、事業の効率化を図り、成果を向上させる方法を記入して下さい。	内容	類似の事務事業がないため統廃合することはできない。			
		現状より事業費・人件費を削減する方法を記入して下さい。（仕様の変更、外部委託、従事時間の削減等はないか？）	内容	実施計画の策定方法を工夫・改善し事業を進めていく。			
	公平性	受益者負担はありますか？ また、受益者負担割合は適正ですか？	<input type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> 現状で適正 <input type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> 検討が必要 <input checked="" type="checkbox"/> 受益者がいない	内容	直接的な受益者はいない。		
	3 改革 改善案 ACTION	事業実施上の課題、住民・議会等からの意見と対応策	意見	社会経済情勢の変化に対応した計画へ見直しを図る必要がある。SDGsへの関心が高まっている。		対応策	現計画の評価、分析を行い、計画の見直しを実施する。SDGs推進に向けて、市民・企業との連携を重視した取組を実施する。
R6年度の事業計画は前年度から変更・追加はあるか		前年度	ローリング方式で実施計画の見直しを実施した。基本計画の見直しを行い、後期基本計画を策定した。		変更・追加	後期基本計画に基づき、目標を達成するために事業の実施を進める。	
今後の事業・コスト・成果の方向性			今後の事業の方向性、改革・改善案				
<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 廃止・休止			※今年度からの具体的な事業の進め方、手段の見直し等、各方向性の内容 総合計画に基づくまちづくりを計画的に推進するため、3年間ごとの実施計画を策定し、毎年度、ローリング方式で見直しを実施する。 後期基本計画に基づき、目標を達成するために事業の実施を進める。 シティプロモーション事業を継続して実施する。 SDGsの推進について、みよし市SDGs推進パートナーとして登録された企業等と連携した取組を進める。				
コストの方向性			↓ 減少				
成果の方向性			↑ 増加				